

# 北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事

NO	名 称	縮 尺	NO	名 称	縮 尺	NO	名 称	縮 尺
A-01	タイトル、図面リスト	—	K-01	仮 設 計 画 図	1：70	S-01	構造設計特記仕様書	—
A-02	工 事 区 分 表	—	K-02	解体撤去図・解体概要図	1：50	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	—
A-03	建築特記仕様書（1）	—	K-03	既存建物 建物概要・内・外部仕上表	—	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	—
A-04	建築特記仕様書（2）	—	K-04	既存建物 1・2階平面図	—	S-04	鉄骨構造標準図（1）	—
A-05	建築特記仕様書（3）	—	K-05	既存建物 立面図	—	S-05	鉄骨構造標準図（2）	—
A-06	建築特記仕様書（4）	—	K-06	既存建物 矩計図	—	S-06	ベースバック柱脚工法 標準図	—
A-07	設計概要書、内・外部仕上表	—	K-07	既存建物 伏図	—	S-07	QLデッキ合成スラブ設計・施工標準	—
A-08	案内図、配置図、敷地求積表	1：50、1：100	K-08	既存建物 建具表	—	S-08	基礎伏図、各階梁伏図	1：100
A-09	1階・2階平面詳細図	1：50				S-09	軸組図	1：100
A-10	立面図、断面図	1：100				S-10	地中梁リスト・床版リスト・雑詳細図	1：30
A-11	床面積・室面積表、排煙・採光・換気計算表、消防無窓計算表	1：100				S-11	柱リスト・柱脚リスト・大梁リスト・継手リスト	1：30
						S-12	部材リスト・X1通り鉄骨詳細図	1：30
D-01	矩 計 図	1：30						
D-02	階 段 詳 細 図	1：30						
D-03	1階展開図(1) 車庫、更衣室	1：50						
D-04	1階展開図(2) 便所、階段室	1：50						
D-05	2階展開図 会議室、便所	1：50						
D-06	屋根伏図、天井伏図、建具キープラン	1：50、1：100						
D-07	建 具 表	1：50						
D-08	部 分 詳 細 図	1：5、1：10、1：20						
D-09	外構図	1：50						
D-10	ホース乾燥塔詳細図	—						

No	項 目	建 築	電 気	機 械	別 途		備 考
1	設備機器・配管・配管用の床・壁・天井の点検口の製作・設置	○					
2	鉄筋コンクリート造等の躯体貫通部分（設備機器配管・配線用）の構造補強	○					
3	同上貫通部のスリーブ及び箱入れ等の製作及び設置、及び穴埋め補修		○	○			
4	雨水縦樋	○					
5	同上G L以降の埋設配管及び雨水浸透柵工事			○			
6	照明器具及び空調吹出口等のための天井ボード類下地及び枠補強	○					
7	同上墨出し、切込み		○	○			
8	設備用吊ボルト及びインサート類の打ち込み		○	○			
9	給排機器類の設置及びフード（ベンドキャップ共）			○			
10	同上 取付に伴う開口及び補強	○					
11	同上 配線配管		○				
12	換気扇取付枠			○			
13	ライニング及び甲板	○					
14	衛生器具の設置			○			
15	設備機器取付用下地補強	○					
16	システムキッチン	○					
17	同上への配管接続			○			
18	設備機器の一次側への電源供給・接続		○				
19	同上への給水・排水			○			
20	空調機の設置			○			
21	同上 電源供給		○				
22	空調機室外機架台			○			
23	化粧鏡設置			○			
24	各種天井吊り設備機器の吊り補強		○	○			
25	各種設備機器・配管の耐震、防振、消音、安全対策等		○	○			
26	各種盤類取付のための下地補強	○					
27	ピクチャーレール・ブラインド（取付下地、同補強とも）	○					
28	消火器	○					
29	什器・備品の購入・設置（図示以外のもの）				○		
30	竣工引き渡しまでの工事電力・用水使用料金	○	○	○			
31							
32							







19 内 装 工 事	9. 畳敷き	⑩ 石こうボード その他ボード 及び合板張り	・ 複層フローリング	種 別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
			※ 複合1種 フローリング ・ 複合2種 フローリング ・ 複合3種 フローリング	※ナラ ・ サクラ ・ ヒノキ	・ A種 ・ B種 ※ C種	・ 行う ※行わ ない	・ 釘止め工法 ・ 接着工法	※ウレタン樹脂 ・ ワニス塗 ・ オイルステ ン塗りの上 ワックス ・ 生地のまま ワックス ・ 既塗装品	
			・ 大型積層 フローリング	・ ナラ ・ サクラ	・ ・	・ 行う ※行わ ない	・ 特殊張り 工法 (体育館床)		
			畳の種類						
			畳の種類						
			畳の種類						
			畳の種類						
			畳の種類						
			畳の種類						
			畳の種類						
20 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	2. フリーアクセス フロア	(20. 2. 2)	施工場所	工法	仕上り高 (mm)	適用地震時 水平力(Ks)	耐荷重性能 (N)	表面仕上げ	
				・ 溝工法 (僅敷工法)		・ 1. 0G ※ 0. 6G	・ 3, 000 ・ 5, 000	・ 帯電防止 床タイル ・ タイル カーペット	
				・ 支柱一体型 パネル工法 (僅敷工法)					
				・ 支柱分離型 パネル工法 (独立支柱工法)					
			ボーダー部						
			ボーダー部						
			ボーダー部						
			ボーダー部						
			ボーダー部						
			ボーダー部						
21 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	2. 可動間仕切 (パーテ ション)	(20. 2. 3)	構造形式による種類	スタッド式密閉形					
			構成材の種類	アルミニウム合金系又はスチール系					
			パネル表面材	焼付塗装鋼板(標準色)	t=0. 5以上				
			遮音性	3. 6dB以上					
			防火性能	不燃					
			パネルの操作方法による種類						
			パネル表面材の材質及び仕上げ						
			パネル圧接装置の操作方法						
			遮音性						
			防火性能						
22 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	3. 移動間仕切 (スライディ ングドア)	(20. 2. 4)	表面材	カラーポリ合板					
			幅 木	ステンレス製 H=60					
			フレーム	アルミ製					
			扉	厚40 中心吊アール形アルミ製エッジ、 帽子掛け戸当たり付き					
			材 種						
			取り付け方法						
			ステンレスFB(SUS304) 5〜6×12						
			(床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。)						
			形式						
			耐湿機 t=5						
23 ユ ニ ツ ト 及 び そ の 他 の 工 事	4. トイレブース	(20. 2. 5)	衝突防止表示	ステンレス製 H/L仕上げ Φ30程度	市販品				
			誘導標識	市販品					
			室名札・ビクトサイン						

摘 要	月 日			ESSE INC. 株式会社 イズ TEL 055 (226) 8888(代) FAX 055 (226) 5727 甲府市飯田4丁目7-14	一級建築士 長田 孝三 第123273号 一級建築士事務所 第1- 031039号 E-mail : esse@coral.plala.or.jp	管理建築士 換図者 設計者 担当書	工事名称 北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事	図面番号 A - 06			
									作 製 令和 4 年 12 月 20 日	図面名称 建築特記仕様書（4）	縮 尺 —

設 計 概 要			
工 事 名 称	北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事		
地 名 ・ 地 番	甲府市北新一丁目6番9号		
建築主住所・氏名	甲府市丸の内一丁目18番1号	甲府市	甲府市長 樋口 雄一
主 要 用 途	その他（消防団詰所）	工 事 の 種 別	新築工事
構 造 ・ 規 模	鉄骨造2階建て	前 面 道 路	県道天神平甲府線 幅員8.95m
都市計画区域	都市計画区域内	計 画 道 路	宝二丁目北新線都市計画道路 計画幅員16m
用 途 地 域	第一種中高層住居専用地域	防 火 地 域	指定なし 22条地域
その他の地域地区	下水道供用開始区域	道路斜線制限	1.25
建 蔽 率	42.2 % (58.9 %) < 60 % (指定)	容 積 率	82.4 % (117.9 %) < 200 % (指定)
敷 地 面 積	82.57 m <sup>2</sup> （計画道路部除く57.73 m <sup>2</sup> ）	床 面 積	延床面積：68.10 m <sup>2</sup>
建 築 面 積	34.05 m <sup>2</sup>		1階：34.05 m <sup>2</sup> 2階：34.05 m <sup>2</sup>
最 高 の 高 さ	7.480 m	最高の軒の高さ	7.330 m
別 途 工 事			

外 部 仕 上 表	
屋 根	カラーG L 鋼板 t=0.6 ルーフデッキ 山高=85.88（不燃性断熱材裏打貼）、換気面戸、折版谷用雪止付雪止めアングル2段(亜鉛メッキ品) 片棟包・ケラバ包： カラーG L 鋼板 t=0.6加工
軒 裏	ルーフデッキ（不燃性断熱材表し）
樋	軒樋：硬質塩ビ製（カラー） W=150 ・  縦樋：Φ75 硬質塩ビ製（カラー）
外 壁	C形鋼縦胴縁下地 A L C版 t=50 横張り 防水型複層塗材 E 吹付
地 覆	コンクリート打ち放し 補修仕上 天端：設計GL+400
建 具	アルミサッシ（A L C用） 可動網戸 軽量手動シャッター
外部雑工事	ステンレス箱文字 200角×10文字（甲府市消防団 北新分団） 窓上庇：アルミ製規格品 D=90、D=165、D=600 ダイヤル式キーボックス（壁面指定場所固定） キーブロック I 型同等
外 構 工 事	車庫出入口：コンクリート舗装 t=150（タテヨコともD-13@200）/路盤再生クラッシャーランRC-40 T=300 伸縮目地：歴性質目地板 犬走：コンクリート舗装 t=150（ワイヤメッシュ Φ6-□150）伸縮目地：歴性質目地板 路盤 - RC40～0 t=150 建物周囲(3方)：砂利敷き均しt=60/防草シート敷 消火用ホース乾燥塔： 電動ウインチ 12本吊 （地上12 m） DP-AU型 同等品 出動灯ポール自立型(電気設備工事)

内 部 仕 上 表										※仕上・下地・その他全てF☆☆☆☆及び規制対象外を使用する	※小屋裏・天井等の下地の建材は規制対象外の建材を使用する
階	室 名	床		巾 木		腰壁	壁	天 井			備 考
			F H		H				廻り縁	C H	
1階	車 庫	コンクリート金ゴテ直押え クラック誘発目地 15×20 （シーリング処理）	GL+150 ～ +90	ソフト巾木	100	—	EP塗装/強化石膏ボード（GB-F）t=15 / LGS 鉄骨露出部：SOP仕上（壁仕上取合い部：塩ビ見切り）	デッキプレート現し（亜鉛メッキ） 鉄骨露出部：SOP仕上	—	4,200 ～ 4,290	整理棚（3段） 木製壁面棚 D=300 防火服掛け用フック換気扇・給気ガラリ（機械設備工事） 車止め（規格品） 消火器（粉末10号）
	便 所	コンクリート金ゴテ直押え	GL+150	ソフト巾木	100	—	準不燃ビニールクロス貼り /シージング石膏ボード（GB-S）t=12.5 / LGS	化粧石膏ボード（GB-D） t=9.5 （910×455）張 / LGS	塩ビ製	2,500	洋風便器・換気扇（機械設備） ライニング天板：ポストフォーム 小物棚 D=250
	更 衣	コンクリート金ゴテ直押え	2SL+160	ソフト巾木	100	—	準不燃ビニールクロス貼り /石膏ボード（GB-R）t=12.5 / LGS	準不燃ビニールクロス貼り /石膏ボード（GB-R）t=9.5 / LGS	塩ビ製	2,500	床見切（SUS）
	階 段	踏面：防滑性階段用床材貼 t 2.5 / モルタル金鏝押え 蹴上：SOP塗装 / 鉄骨		ソフト巾木 ササラ：SOP塗装 / 鉄骨		—	準不燃ビニールクロス貼り /強化石膏ボード（GB-F）t=15 / LGS	化粧石膏ボード（GB-D） t=9.5 （910×455）張 /強化石膏ボード（GB-F）t=15 / LGS	塩ビ製	2,500	下足・スリッパ入れ 18人用・見え掛り部 ポリ合板フラッシュ 樹脂製手摺・ノンスリップ：ステンレス（中空ビニール入り）
2階	待機兼会議室	ビニル床シート貼 t=2.0 / モルタル金鏝押え	2SL+160	ソフト巾木	100	—	準不燃ビニールクロス貼り /石膏ボード（GB-R）t=12.5 / LGS	化粧石膏ボード（GB-D） t=9.5 （910×455）張 / LGS	塩ビ製	2,500	ホワイトボード W1800×H900 消火器（粉末10号） ビクチャーレール（南西壁面上部）・レール下部額類受け桟木・天井点検口（アルミ製 450角） 横型ブラインド（スラット巾 25） 給気ガラリ・換気扇・空調機（機械設備）
	湯沸スペース	ビニル床シート貼 t=2.0 / モルタル金鏝押え	2SL+160	ソフト巾木	100	—	準不燃ビニールクロス貼り、一部キッチンボード貼 /石膏ボード（GB-R）t=12.5 / LGS	化粧石膏ボード（GB-D） t=9.5 （910×455）張 / LGS	塩ビ製	2,500	システムキッチン W=1650（IHヒーター）＋上部吊戸棚 W900 ブーツ型換気フード 給気ガラリ・換気扇（機械設備）
	便 所・手 洗	ビニル床シート貼 t=2.0 / モルタル金鏝押え	2SL+160	ソフト巾木	100	—	準不燃ビニールクロス貼り /石膏ボード（GB-R）t=12.5 / LGS	化粧石膏ボード（GB-D） t=9.5 （910×455）張 / LGS	塩ビ製	2,500	小物棚：ポストフォーム D=250 洋風便器・手洗器・鏡・換気扇（機械設備）
	収 納	ビニル床シート貼 t=2.0 / モルタル金鏝押え	2SL+160	ソフト巾木	60	—	耐水合板（I 類）t=12 / LGS	耐水合板（I 類）t=5.5 / LGS	木製 18×30	2,500	棚 2段

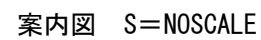
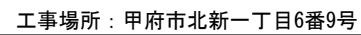
不燃認定番号	石膏ボード（GB-R）t=12.5・15	不 燃	NM-8619	シージング`石膏ボ-ド`（GB-S）t=12.5	準不燃	QM-9826	準不燃ビニールクロス	準不燃	QM-9412
	石膏ボード（GB-R）t=9.5	準不燃	QM-9828	珪酸カルシウム板（FK）	不 燃	NM-8578	キッチンボード 火山性ガラス質複層板 UV塗装 同等品	不 燃	NM-1802 同等
	化粧石膏ボード（GB-D）t=9.5	準不燃	QM-9824						
	強化石膏ボード（GB-F） t=15	不 燃	NM-8615	ガルバリウム鋼板	不 燃	NM-8697			

防火構造認定番号		
外 壁	ALC版 t=50（鉄骨胴縁下地）	PC030NE-9080

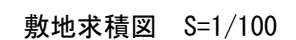
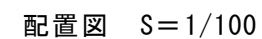
共通事項	断 熱 材	
	外 壁	硬質ウレタンフォーム t=20 （A種1）
	2階天井	高性能グラスウール（16K） t=100

壁下地 L G S	
一般間仕切	W=65
外壁廻り下地	1階：W=65 2階：W=45

摘 要	月 日			esse inc. 株式会社 イ ズ TEL 055 (226) 8888 (代) FAX 055 (226) 5727 甲府市飯田4丁目7-14	一級建築士 長田 孝三 第123273号 一級建築士事務所 第1- 031039号 E-mail : esse@coral.plala.or.jp	管理建築士	検図者	設計者	担当者	工事名称	北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事 設計概要書、内・外部仕上表	縮 尺 A-2 NONSCALE	図面番号 A - 07	

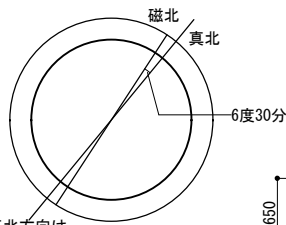


道路斜線：道路幅員 8.95m × 1.25 = 11.187m > 建物高さ 7.48mにより適合  
隣地斜線：建物高さ20m以下により適合

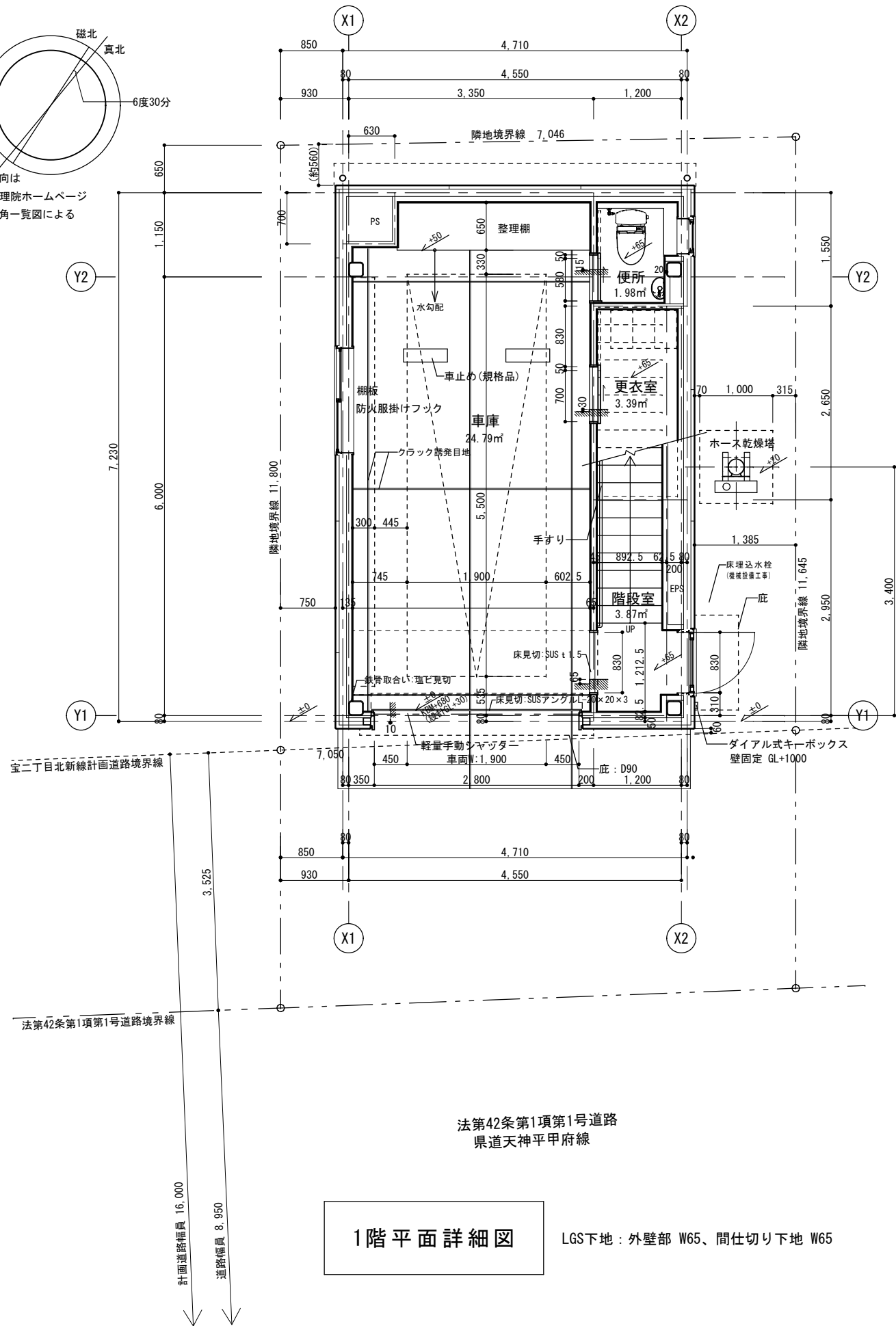


摘 要	月 日		<b>ESSE INC.</b> 株式会社 イズ 一級建築士 長田 孝三 第123273号 一級建築士事務所 第1- 031039号 甲府市飯田4丁目7-14 T E L 055 (226) 8888 (代) F A X 055 (226) 5727 E-mail : esse@coral.plala.or.jp	管理建築士	概図者	設計者	担当者	工事名称	北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事  案内図、配置図、敷地求積表 縮 尺 A-2 S=1:50・1:100	図面番号  A - 08

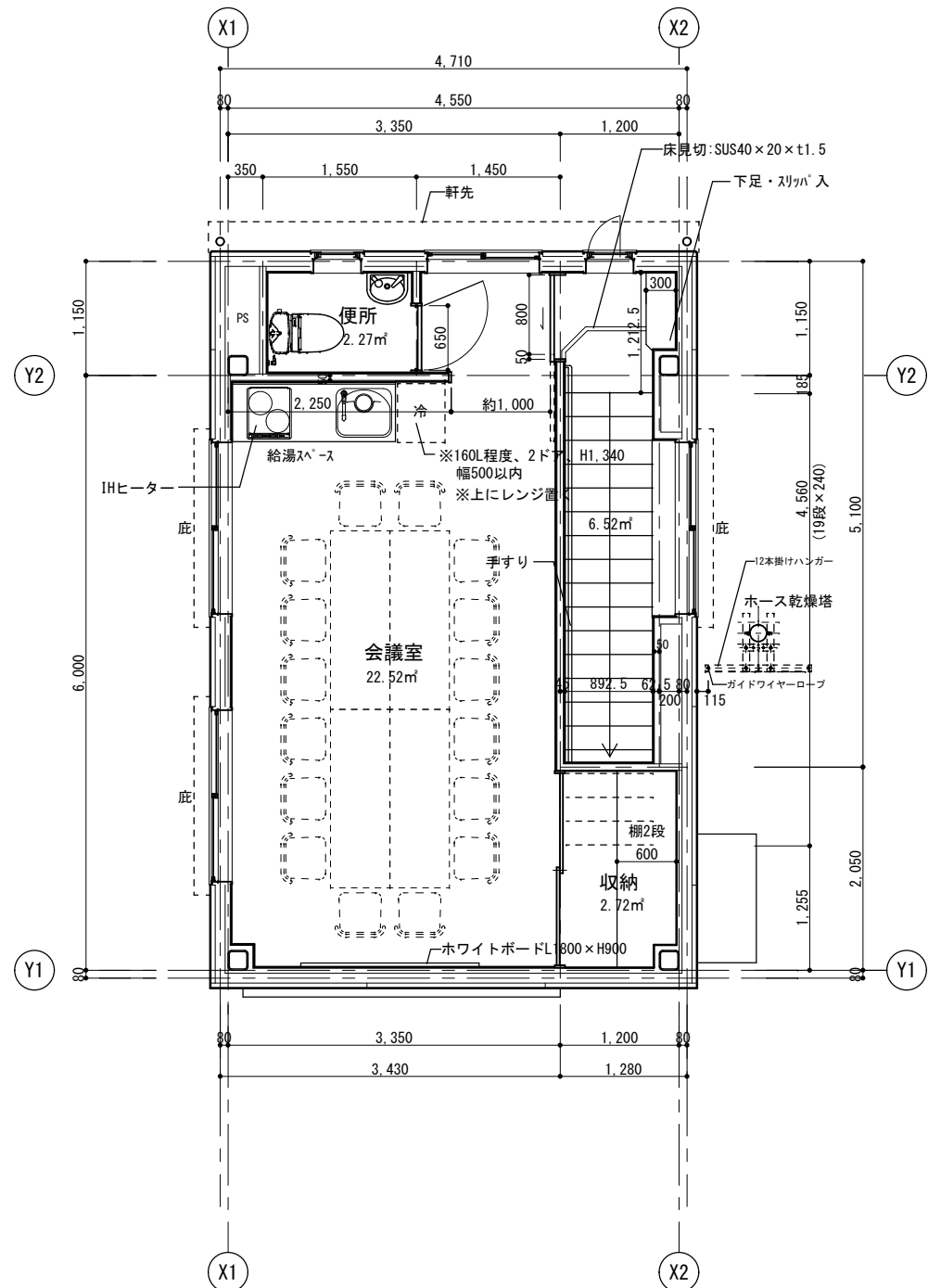




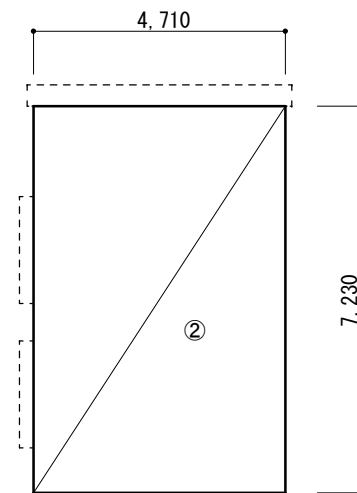
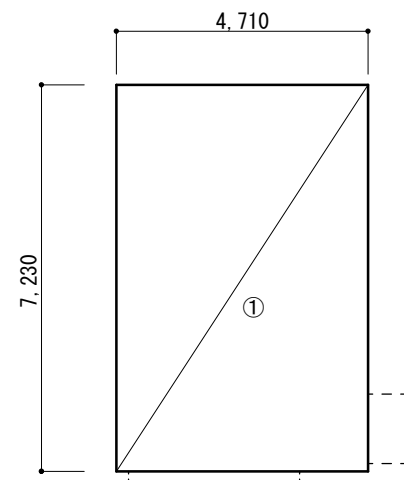
真北方向は  
国土地理院ホームページ  
磁気偏角一覧図による



階段寸法	
踏面	240
蹴上	191.75
階段巾	892.5
手すり付	

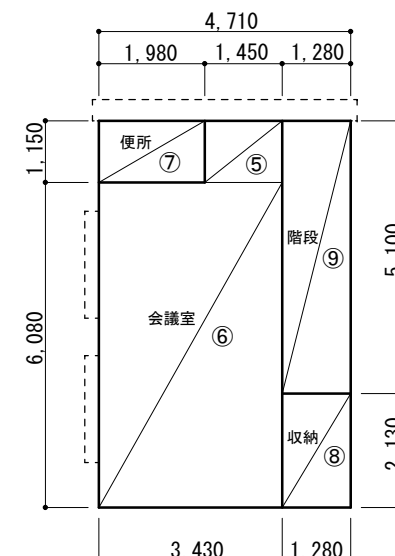
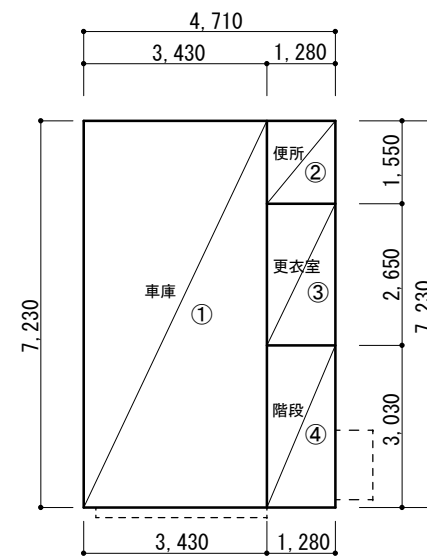




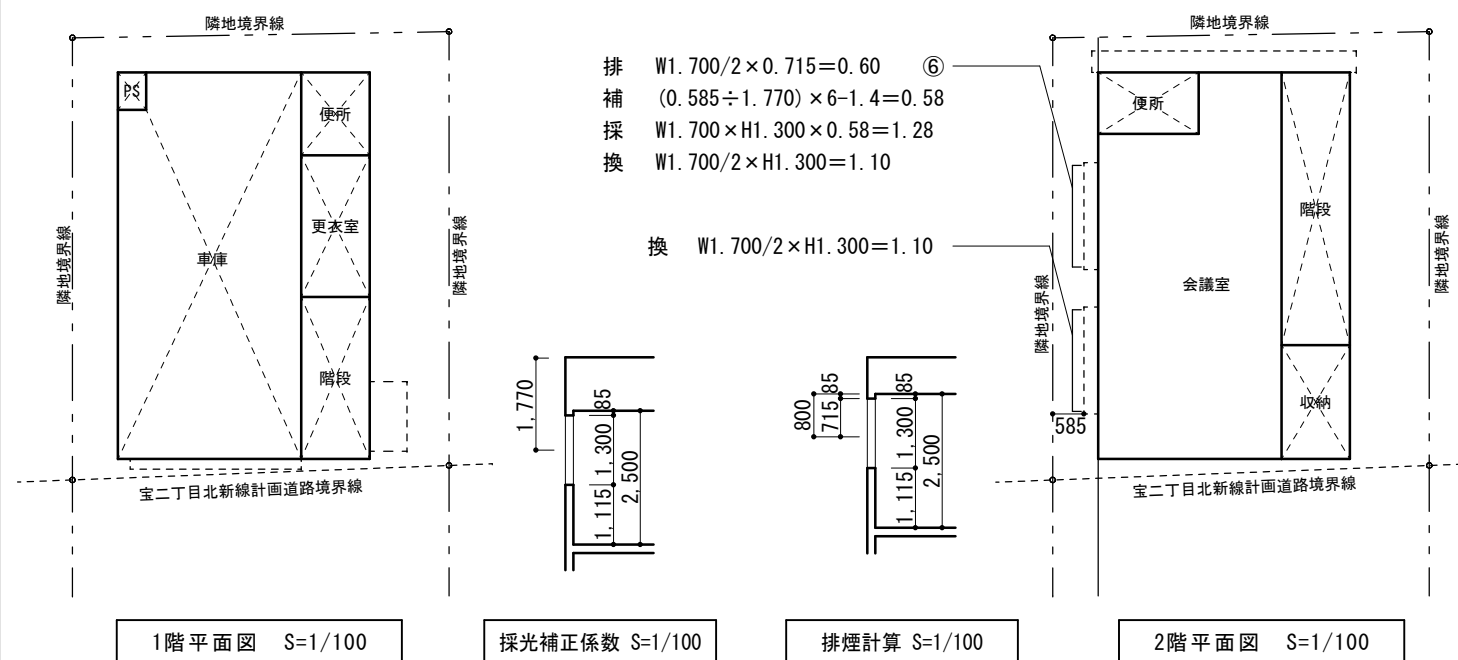


1階床面積表				2階床面積表			
①	4.710	×	7.230 = 34.0533	②	4.710	×	7.230 = 34.0533
小 計			34.0533	小 計			34.0533
1階床面積			34.05㎡	2階床面積			34.05㎡
1階床面積		34.05㎡	+	2階床面積		34.05㎡	= 延べ床面積 68.10㎡

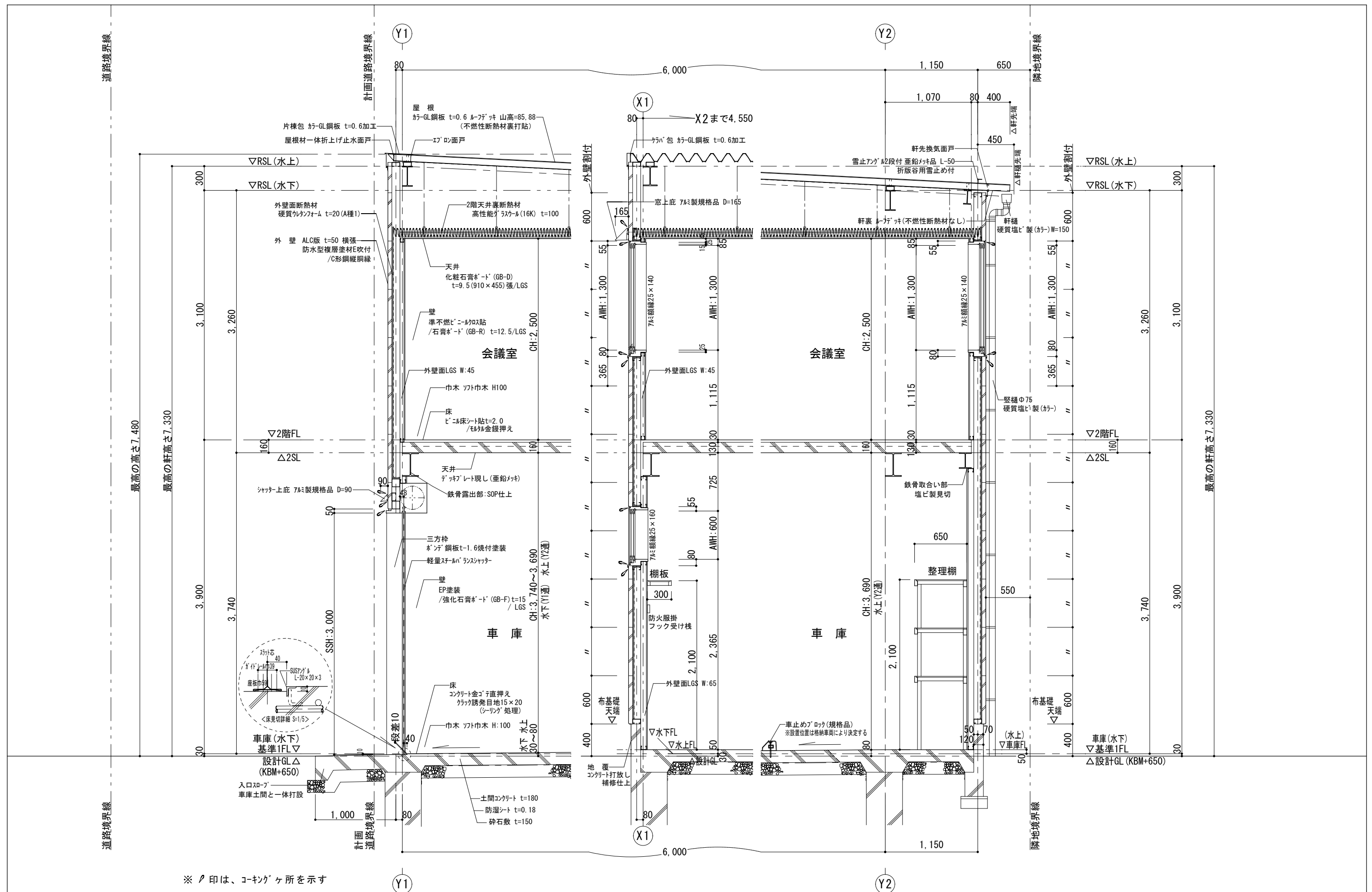
建築面積算定					
1階床面積	34.05㎡	+	建築面積算入部分	0㎡	= 34.05㎡



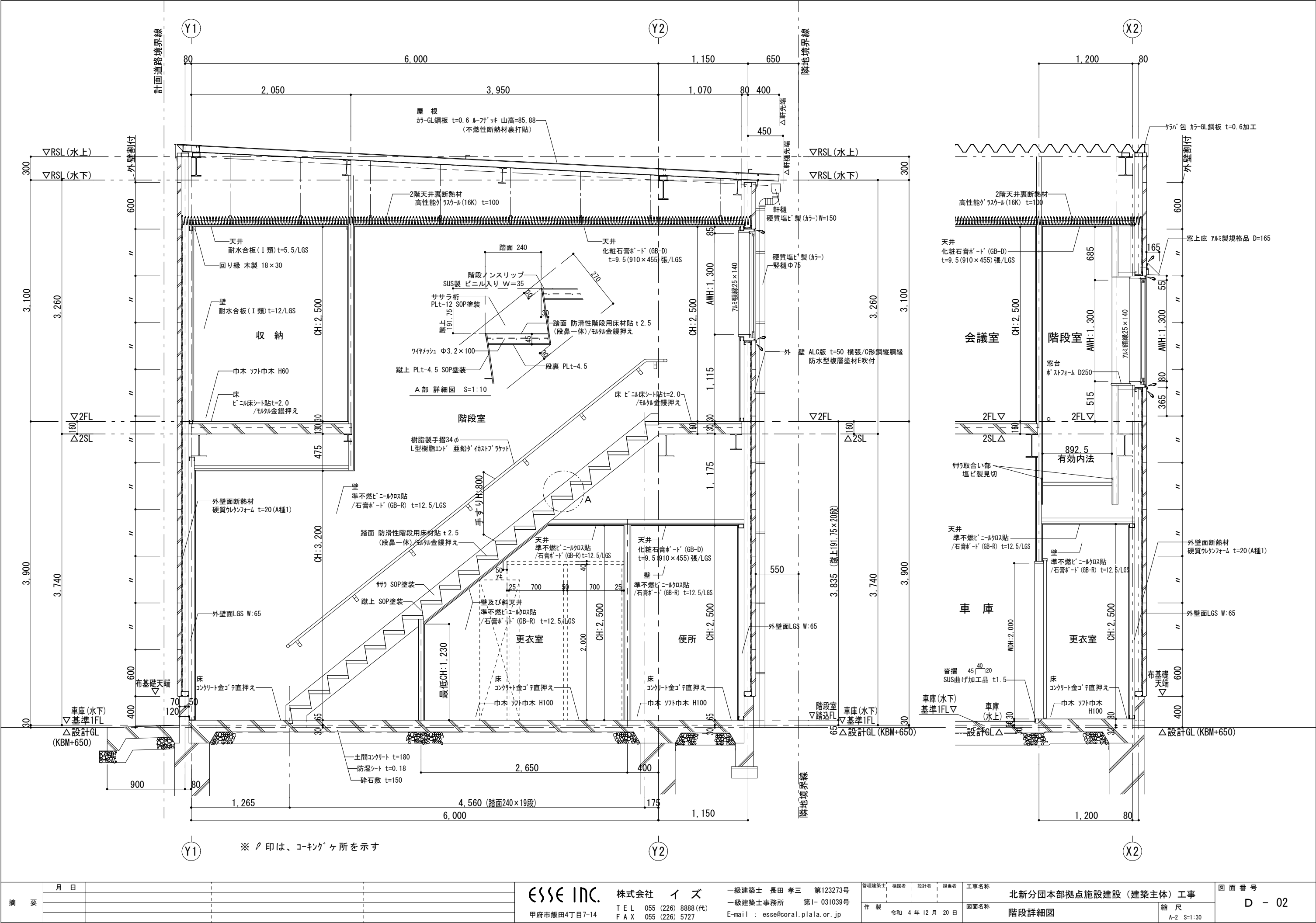
階	室名	番号	計 算	床面積(㎡)	階	室名	番号	計 算	床面積(㎡)
1	車庫	①	3.430 × 7.230 = 24.7989	24.79	2	会議室	⑤	1.450 × 1.150 = 1.6675	22.52
	便所	②	1.280 × 1.550 = 1.9840	1.98			⑥	3.430 × 6.080 = 20.8544	
	更衣室	③	1.280 × 2.650 = 3.3920	3.39		便所	⑦	1.980 × 1.150 = 2.2770	2.27
	階段	④	1.280 × 3.030 = 3.8784	3.87		収納	⑧	1.280 × 2.130 = 2.7264	2.72
						階段	⑨	1.280 × 5.100 = 6.5280	6.52

[illegible]

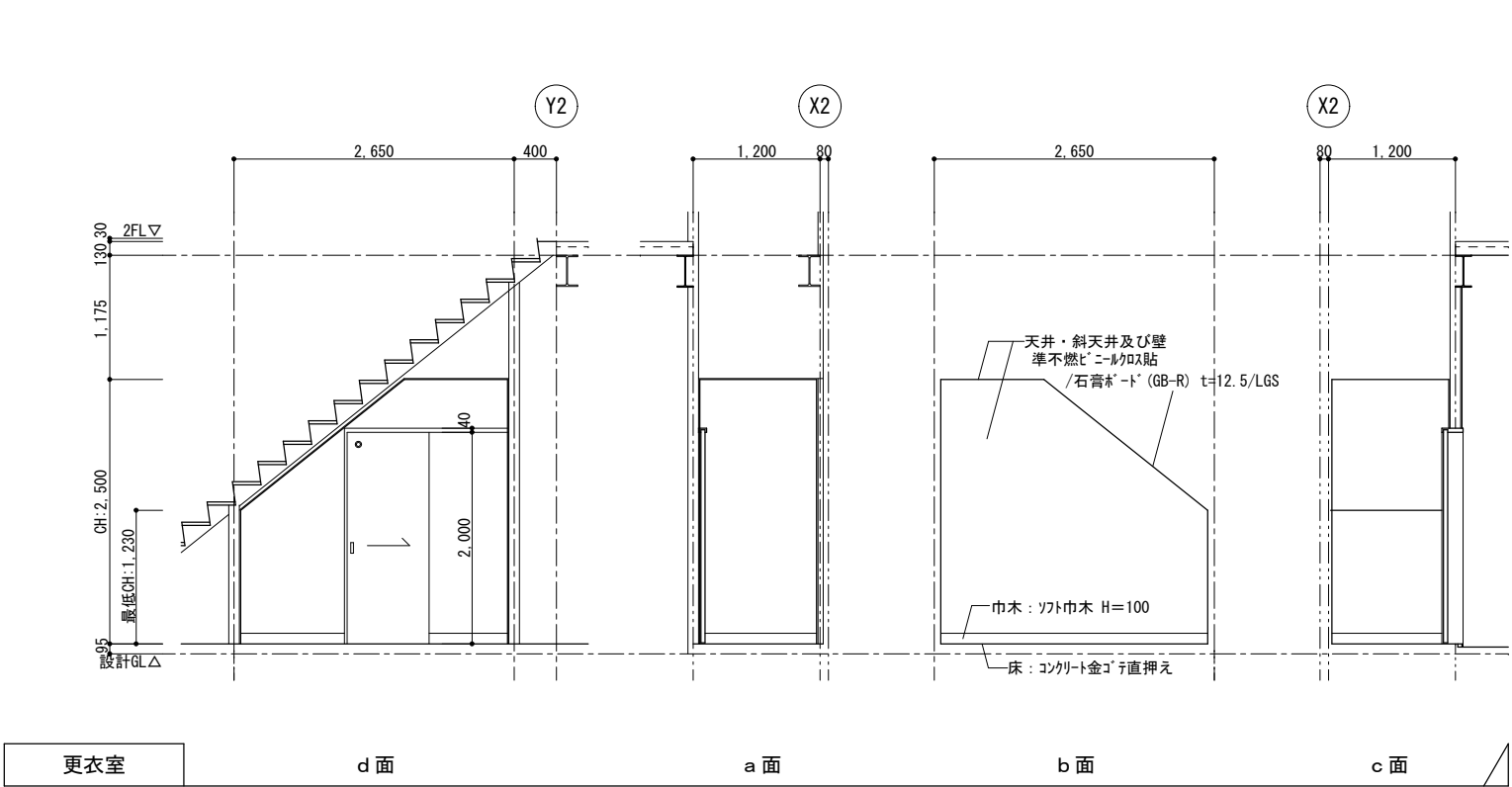
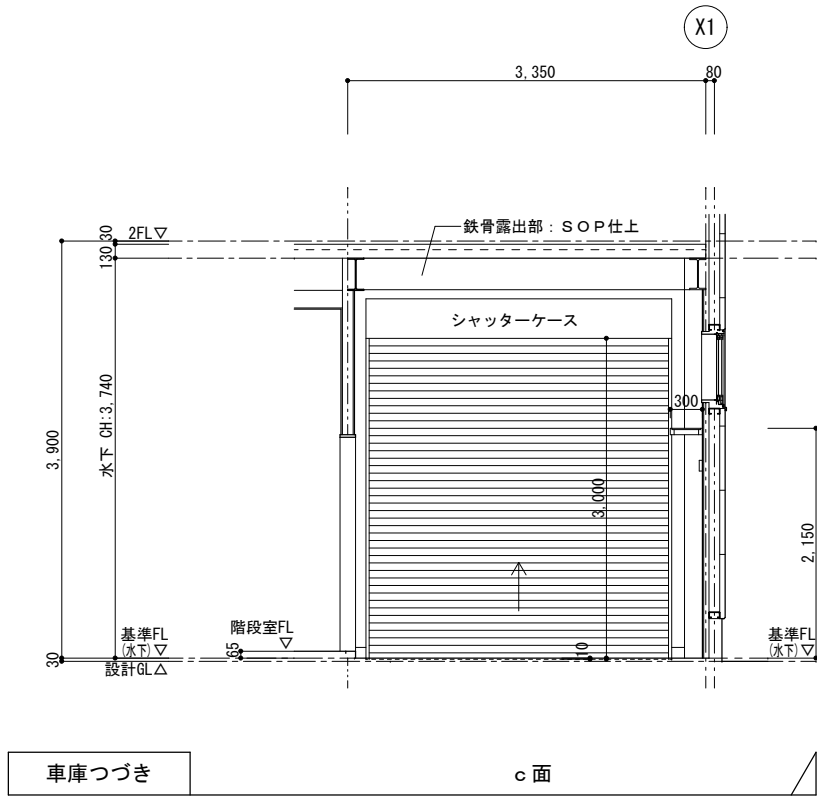
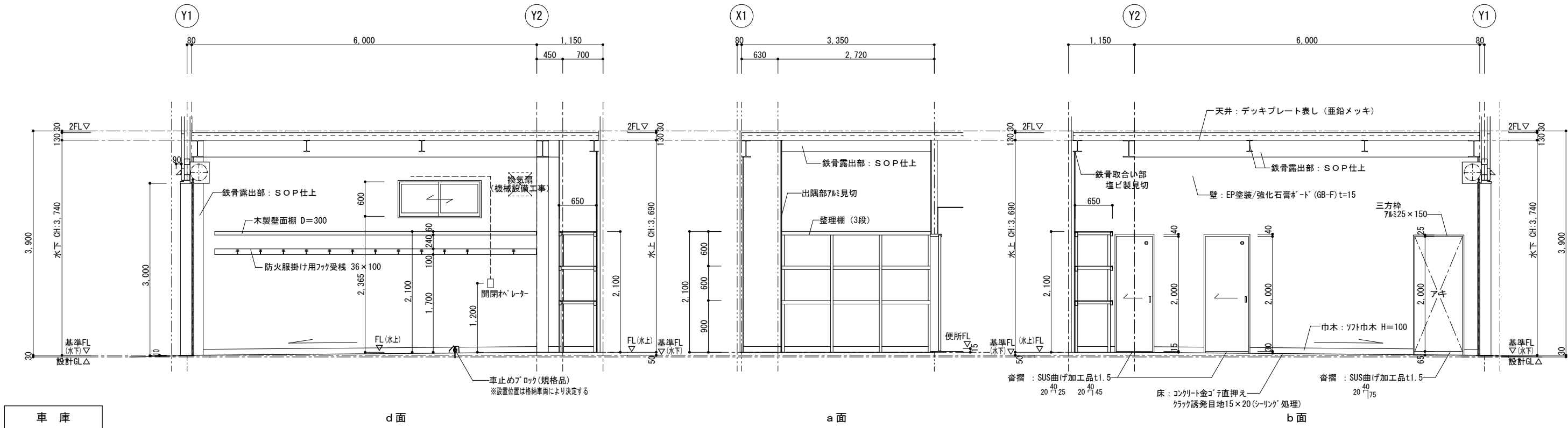
※ 消防法における無窓階に1階、2階とも該当 用途区分(15) その他  
消火器具：1. 2階共それぞれ階の床面積が50㎡以下により設置不要  
誘導灯：極小規模施設であり他の消防設備が設置不要であるため当該設備も設置不要  
その他の消防設備：各階とも無窓階であるが、床面積・収容人数とも設置要件を満たさず設置不要

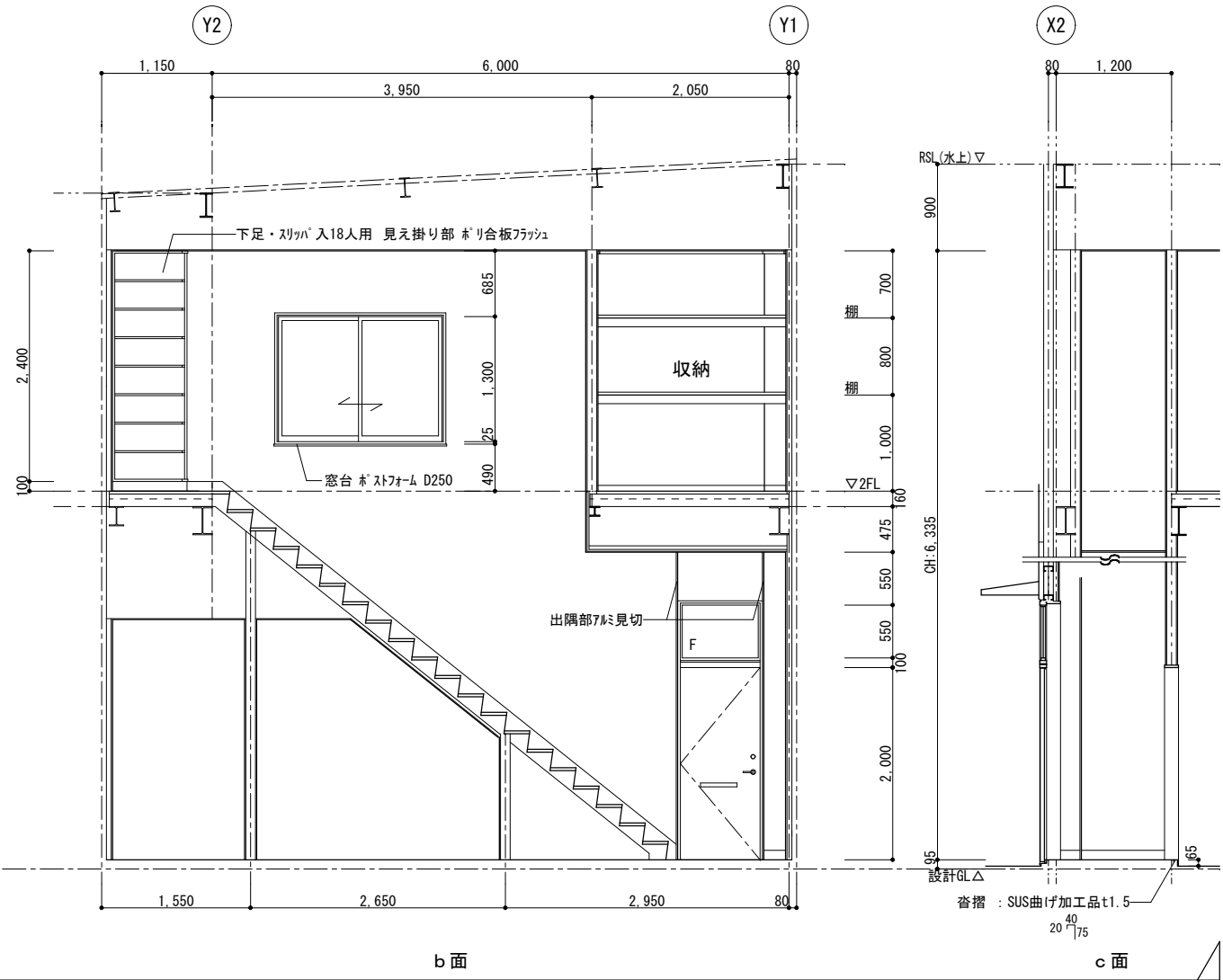
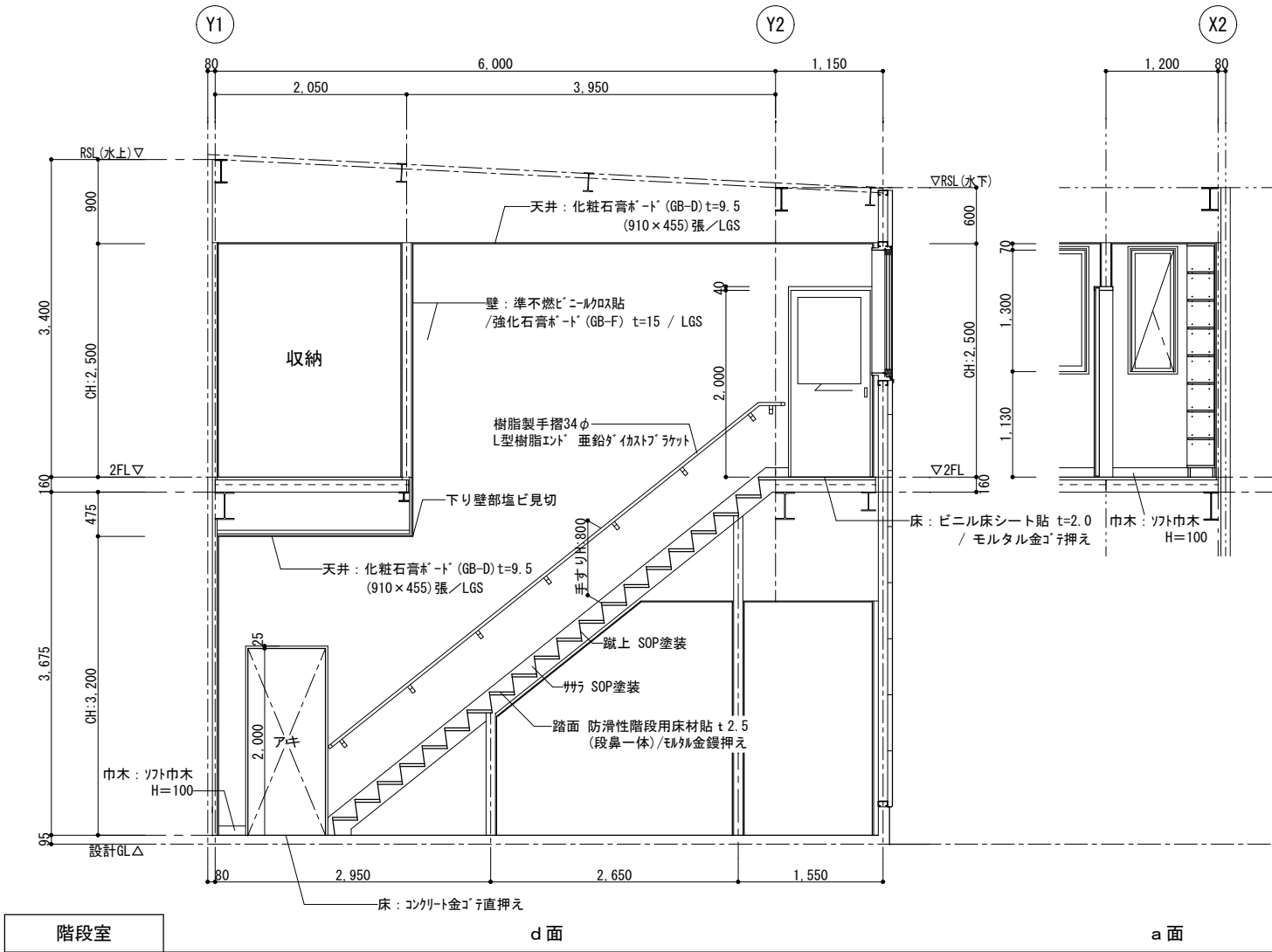
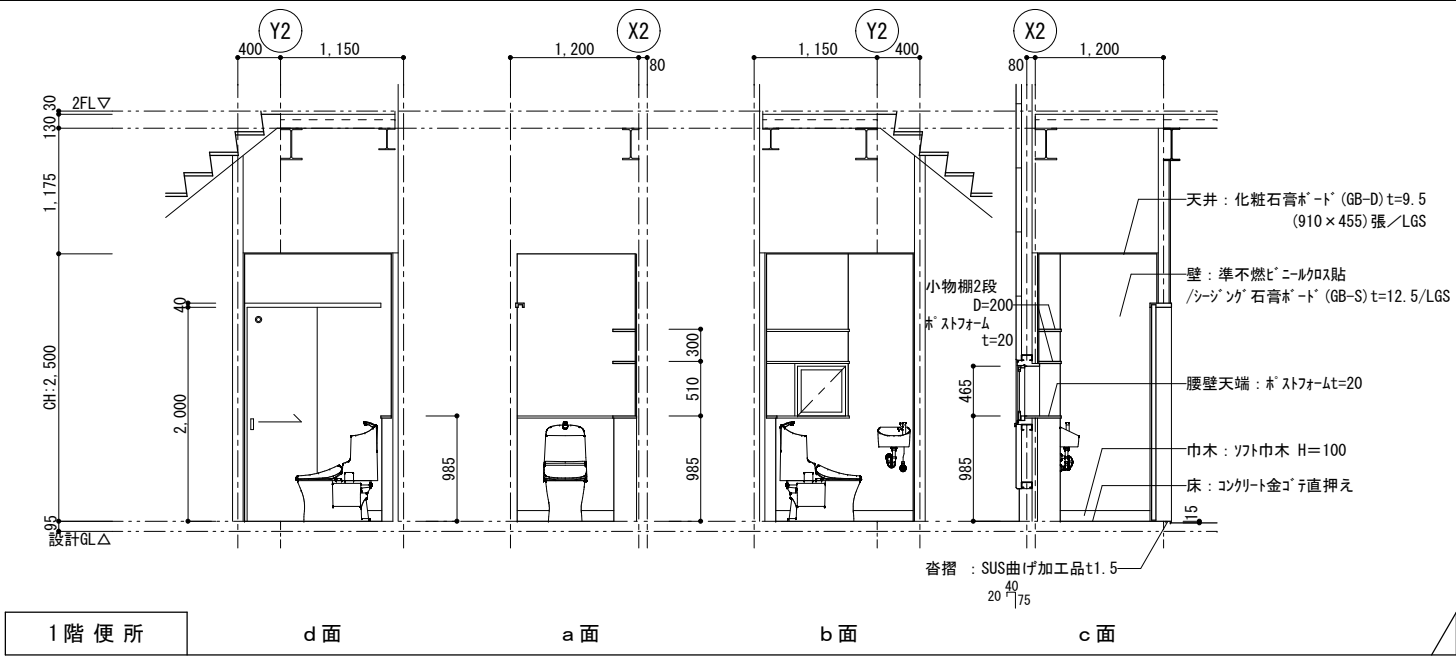


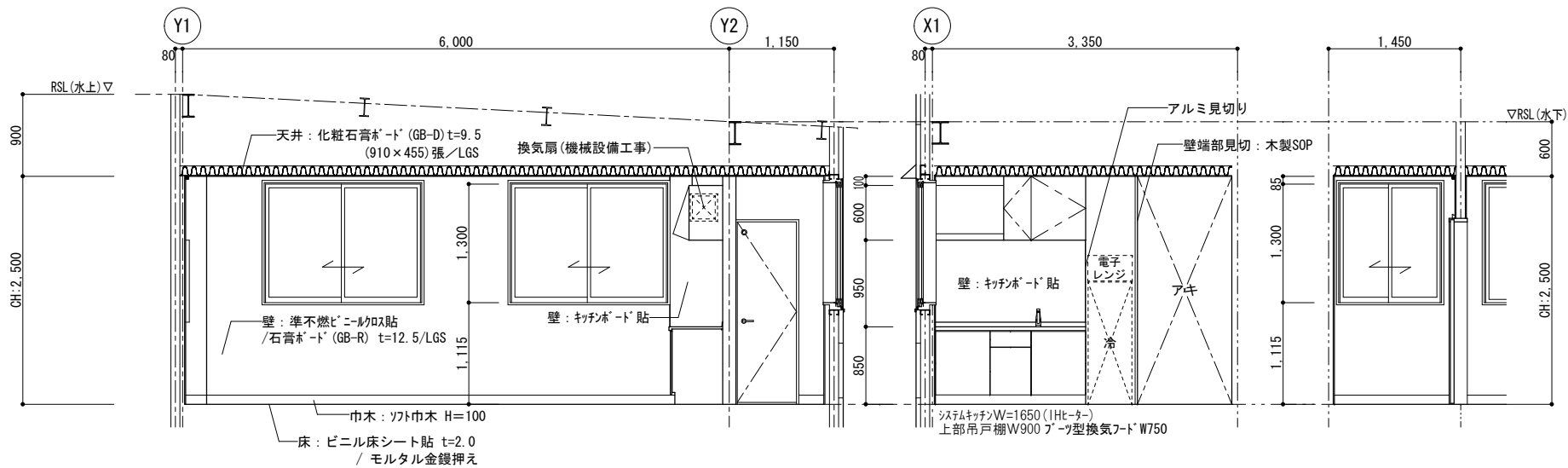
摘 要	月 日				esse inc. 株式会社 イ ズ 一級建築士 長田 孝三 第123273号 一級建築士事務所 第1- 031039号 甲府市飯田4丁目7-14 TEL 055 (226) 8888(代) FAX 055 (226) 5727 E-mail : esse@coral.plala.or.jp	管理建築士	検図者	設計者	担当者	工事名称	北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事  図面番号 D - 01
						作 製	令和 4 年 12 月 20 日			図面名称	縮 尺
										矩計図	A-2 S=1:30



摘要	月 日		esse inc. 株式会社 イズ TEL 055 (226) 8888 (代) FAX 055 (226) 5727 甲府市飯田4丁目7-14	一級建築士 長田 孝三 第123273号 一級建築士事務所 第1- 031039号 E-mail : esse@coral.plala.or.jp	管理建築士	検図者	設計者	担当者	工事名称	北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事 階段詳細図	縮 尺 A-2 S=1:30	図面番号 D - 02
									図面名称			
					作 製	令和 4 年 12 月 20 日						





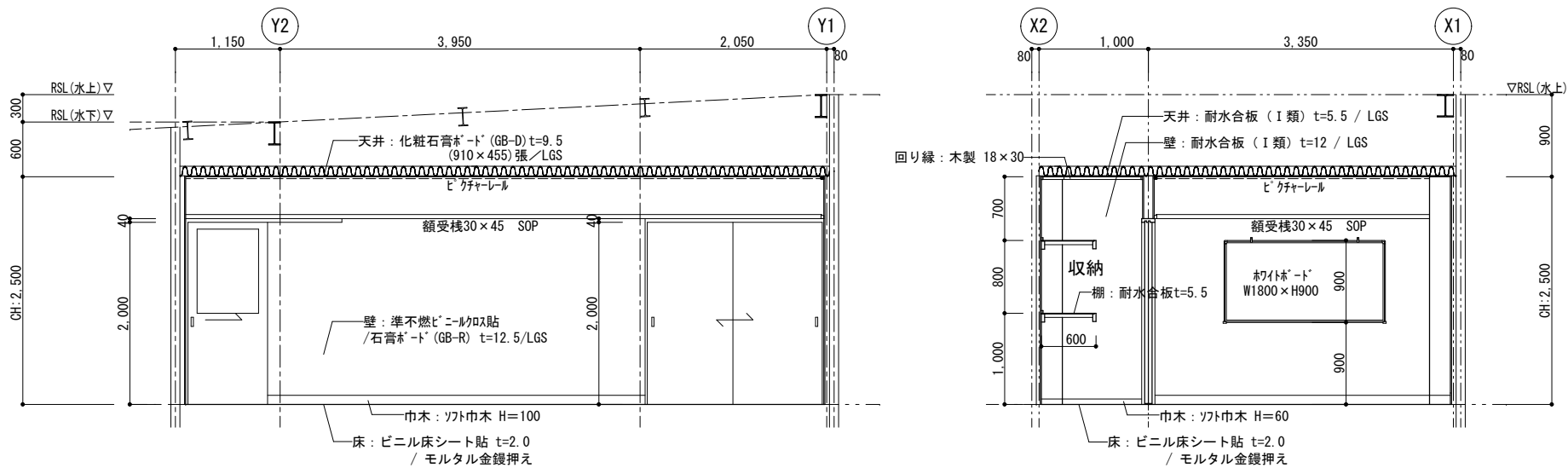


2階 会議室

d 面

a 面

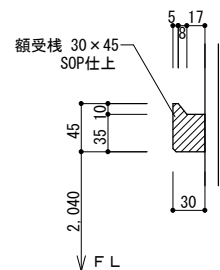
a' 面 (便所前)



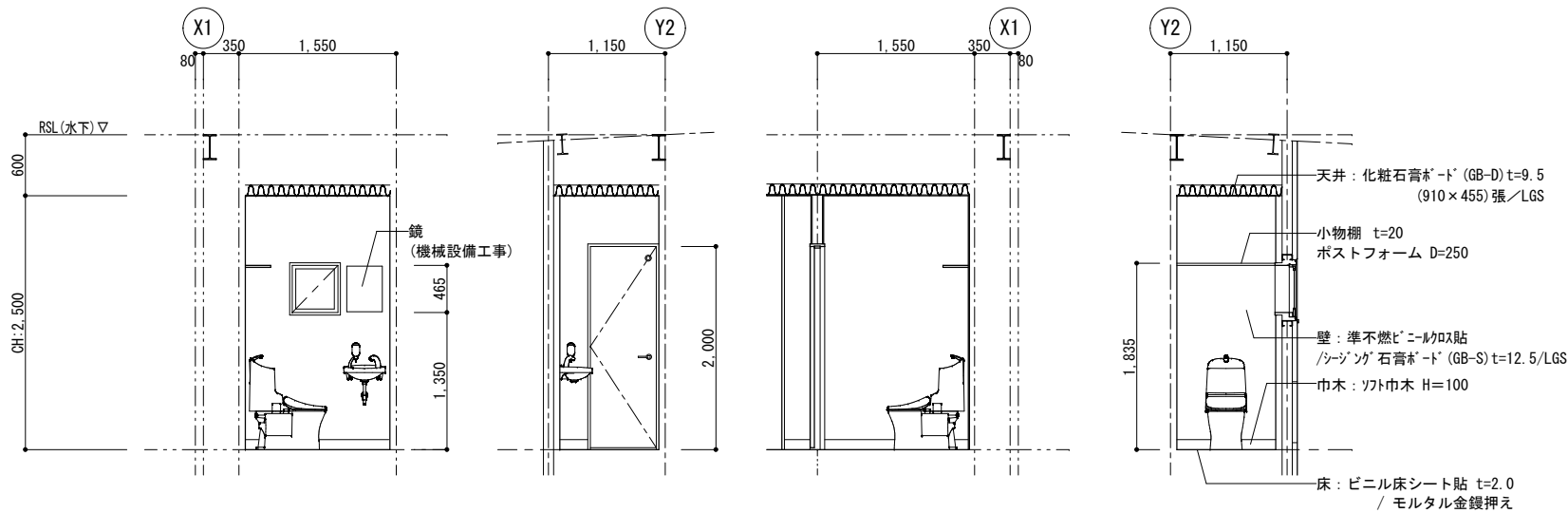
2階 会議室つぎ

b 面

c 面



額受棧詳細図 S=1:5



2階 便所

a 面

b 面

c 面

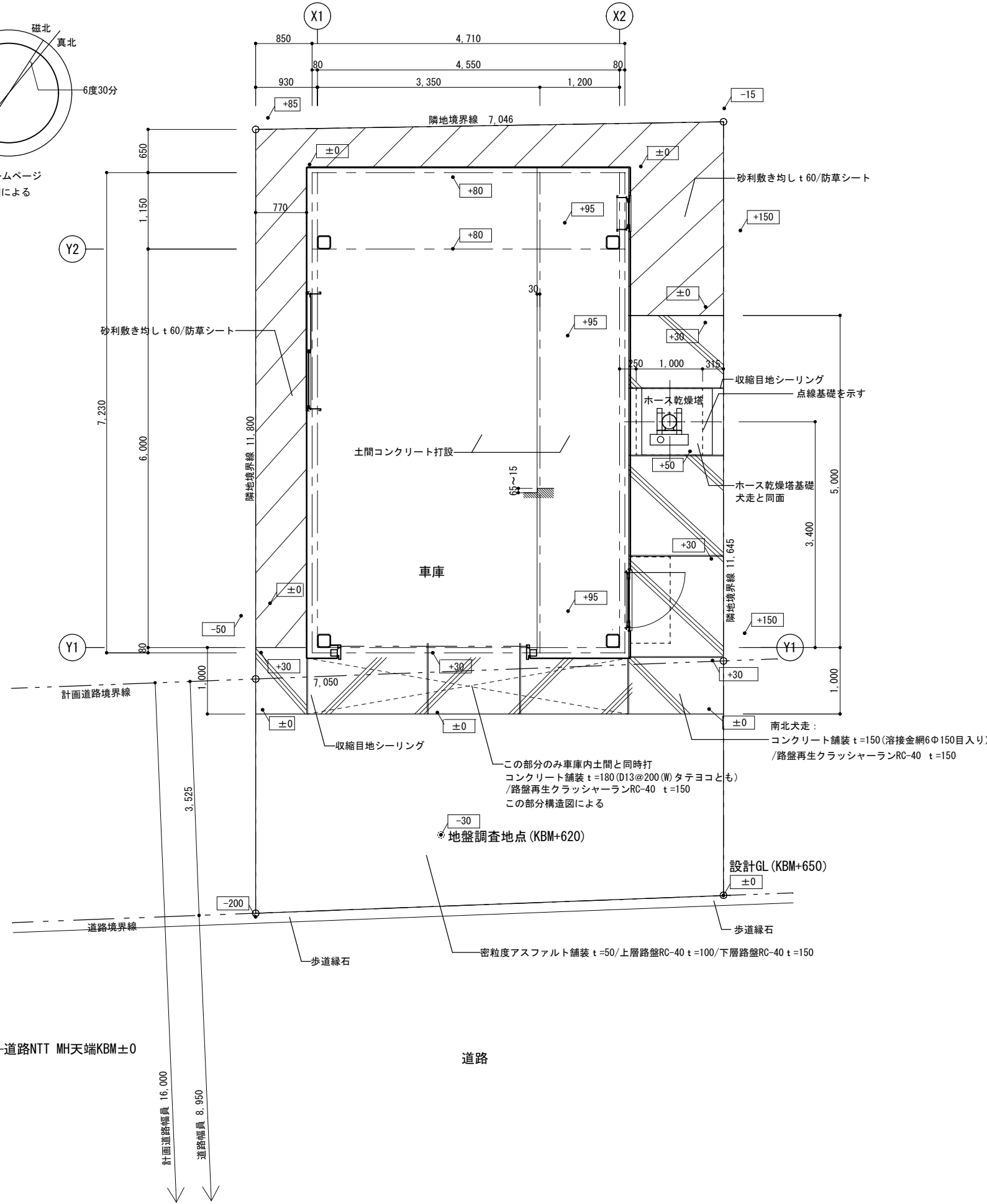
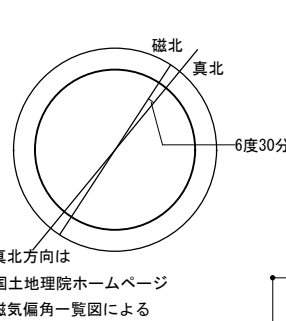
d 面



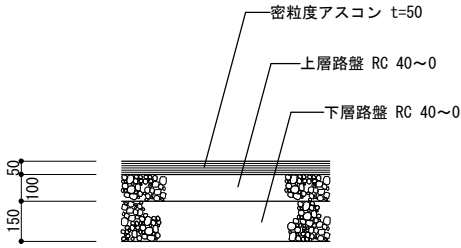


建具符号・室名		101 AD	1階 階段室	101 AW	車庫	102 AW	203 AW	1階・2階 便所	201 AW	202 AW	会議室	204 AW	2階 便所前	205 AW	2階 踏込				
姿 図 (内観図)																			
型 式		はめ殺しランマ付片開きアルミパネルフラッシュ戸 (ALC枠)			引違い窓			横引き出し窓			引違い窓			引違い窓			縦引き出し窓		
見 込		70			70 (ALC枠)			70 (ALC枠)			70 (ALC枠)			70 (ALC枠)			70 (ALC枠)		
材質・仕上		アルミシルバー			アルミシルバー			アルミシルバー			アルミシルバー			アルミシルバー			アルミシルバー		
ガ ラ ス		型 4			型 4			型 4			フロート 5			型 4			型 4		
網戸 (可動)		—			可動網戸 (グラスファイバー)			可動網戸 (グラスファイバー)			可動網戸 (グラスファイバー)			可動網戸 (グラスファイバー)			可動網戸 (グラスファイバー)		
金物	錠	シリンダー本締錠 (外: シリンダー、内: ヅムターン)			クレセント 開閉オペレーター			カムラッチ錠			クレセント			クレセント			カムラッチ錠		
	取手・握玉	SUSレバーハンドル			引手			カムラッチハンドル			引手			引手			カムラッチハンドル		
	支持金物	SUS丁番3枚吊り、ドアクローザー (ストップ付)			戸車			こり出しアーム			戸車			戸車			こり出しアーム		
	皿板・沓摺	下枠SUS t1.5			水切			水切			水切			水切			水切		
	額縁アングル	三方付			四方付			四方付			四方付			四方付			四方付		
備 考		三方アルミ額縁付			四方アルミ額縁付			四方アルミ額縁付			四方アルミ額縁付			四方アルミ額縁付			四方アルミ額縁付		
		ポストロ付			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式			付属金物一式		
		付属金物一式																	
建具符号・室名		206 AW	2階 階段室	101 SS	車庫	101 WD	102 WD	更衣室 1階便所	201 WD	会議室入口		202 WD	2階 便所	203 WD	収納				
姿 図 (内観図)																			
型 式		引違い窓			軽量バランスシャッター			片引ハンガーフラッシュ戸			大額付片引ハンガーフラッシュ戸			片開フラッシュ戸			引違フラッシュ戸		
見 込		70 (ALC枠)			—			枠: 110 扉: 30			枠: 110 扉: 30			枠: 110 扉: 40			枠: 110 扉: 30		
材質・仕上		アルミシルバー			スラット: カラー鋼板 t=0.8			ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ		
ガ ラ ス		網入型 6.8			ガイドレール: カラー鋼板・シャッターケース (角型)			樹脂製小窓			フロート 3			樹脂製小窓			—		
網戸 (可動)		可動網戸 (グラスファイバー)			—			—			—			—			—		
金物	錠	クレセント			内外錠			内締り表示錠 (非常時開放錠)			引戸用シリンダー本締錠 (外: シリンダー 内: ヅムターン)			内締り表示錠			—		
	取手・握玉	引手			手掛			握り込み引手			握り込み引手			レバーハンドル			握り込み引手		
	支持金物	戸車						上吊り金物			上吊り金物			SUS丁番3枚吊 戸当り金物			戸車		
	皿板・沓摺	水切			アルミ強化座板												ステンレスレール		
	額縁アングル	四方付			三方枠 ポンデ鋼板t1.6 焼付塗装														
備 考		四方アルミ額縁付			専用フック棒			戸当りゴム付			戸当りゴム付			他付属品一式			戸当りゴム付		
		付属金物一式			火の用心文字 カッティングシート貼 (300角)			他付属品一式			他付属品一式			他付属品一式			他付属品一式		
		付属金物一式																	
摘 要	月 日																		
esse inc. 株式会社 イズ						一級建築士 長田 孝三 第123273号						管理建築士 検図者 設計者 担当者 工事名称						図面番号 D - 07	
甲府市飯田4丁目7-14						一級建築士事務所 第1- 031039号						北新分団本部拠点施設建設 (建築主体) 工事							
FAX 055 (226) 5727						E-mail : esse@coral.plala.or.jp						建具表							
						作 製 令和 4 年 12 月 20 日						縮 尺 A-2 S=1:50							

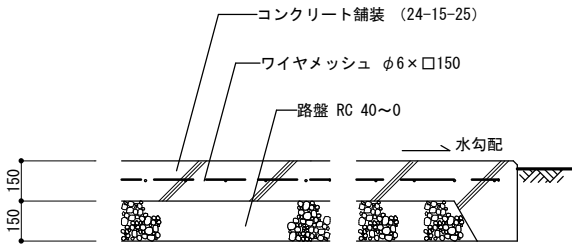
整理棚 詳細図		S=1:20	窓上アルミ庇詳細図		S=1:5	シャッター上アルミ庇D90 詳細図		S=1:5
			建具廻り詳細図 S=1:10					
車庫 壁面棚 詳細図 S=1:20			防火服掛け用吊下げフック 詳細図 S=1:5					
収納棚詳細図 S=1:20			トイレライニング・棚 詳細図 S=1:10					
外部建具廻り			内部建具廻り					
WD-202			WD-203					
引戸								
△ シーリングを示す。								
ESSE INC. 株式会社 イズ			一級建築士 長田 孝三 第123273号 一級建築士事務所 第1- 031039号 E-mail : esse@coral.plala.or.jp					
甲府市飯田4丁目7-14			TEL 055 (226) 8888(代) FAX 055 (226) 5727					
管理建築士 検閲者 設計者 担当者			工事名称 北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事					
作製 令和 4年12月20日			図面名称 部分詳細図					
縮尺 A-2 S=1:30/1:5 S=1:20/1:10			図面番号 D - 08					



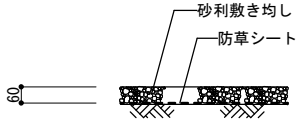
アスファルト舗装 S=1/20



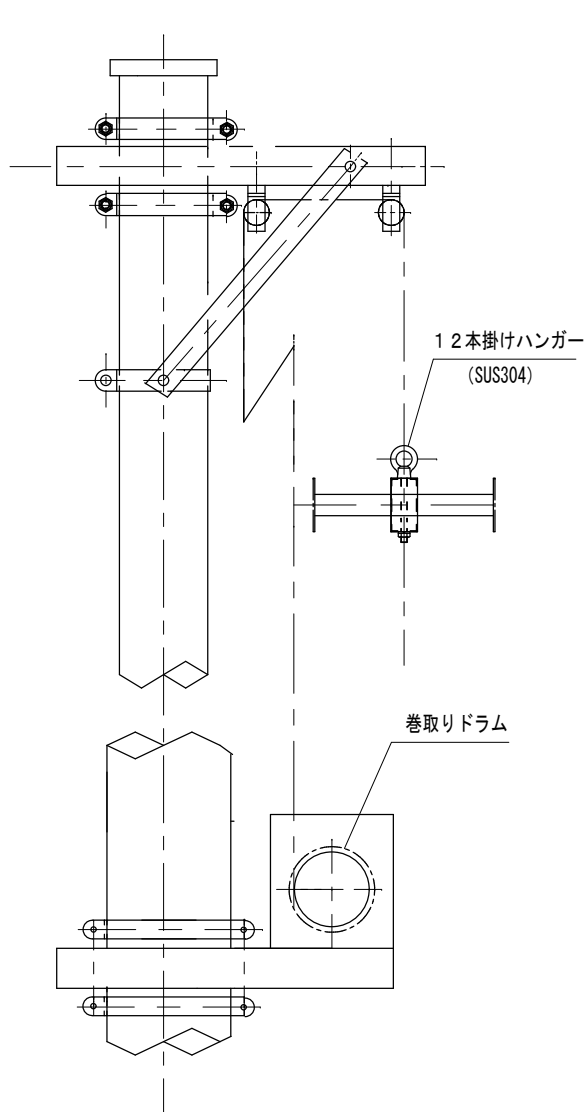
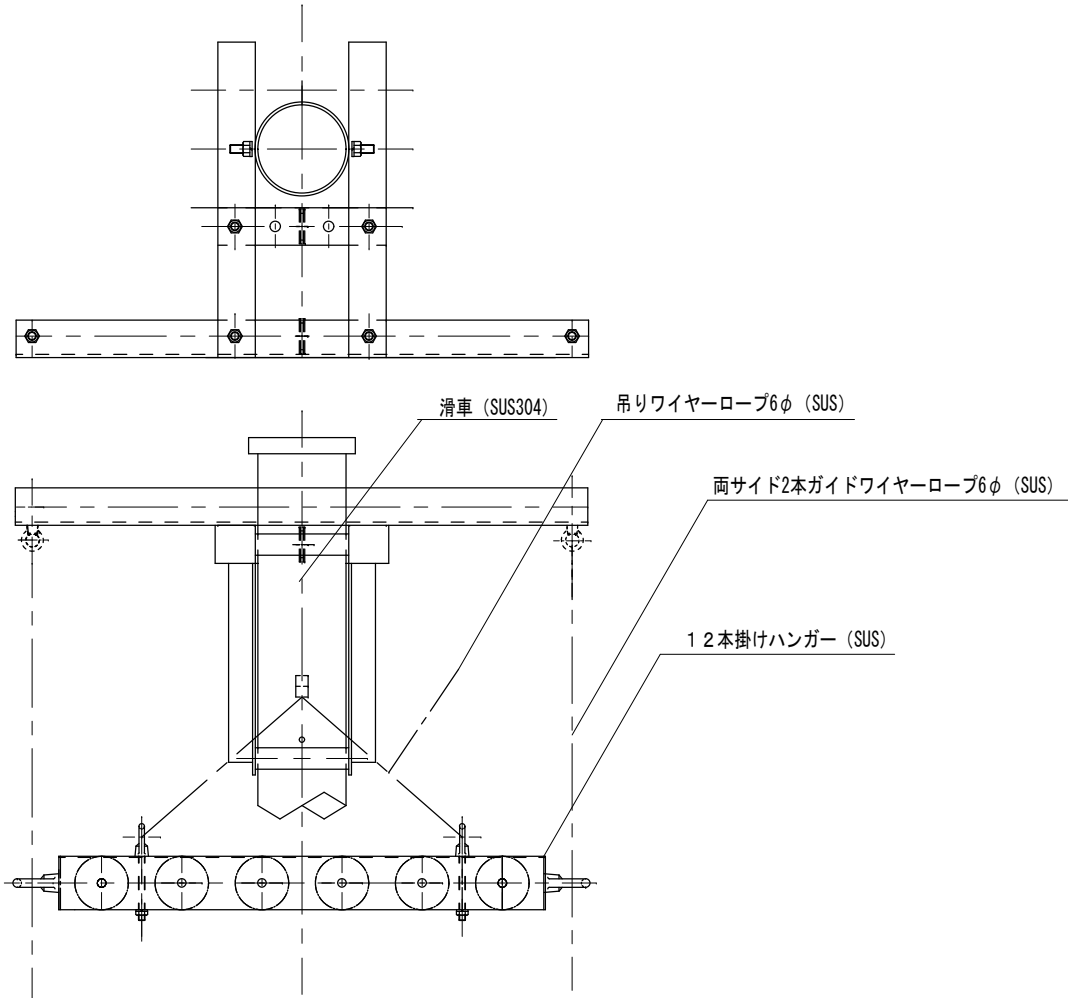
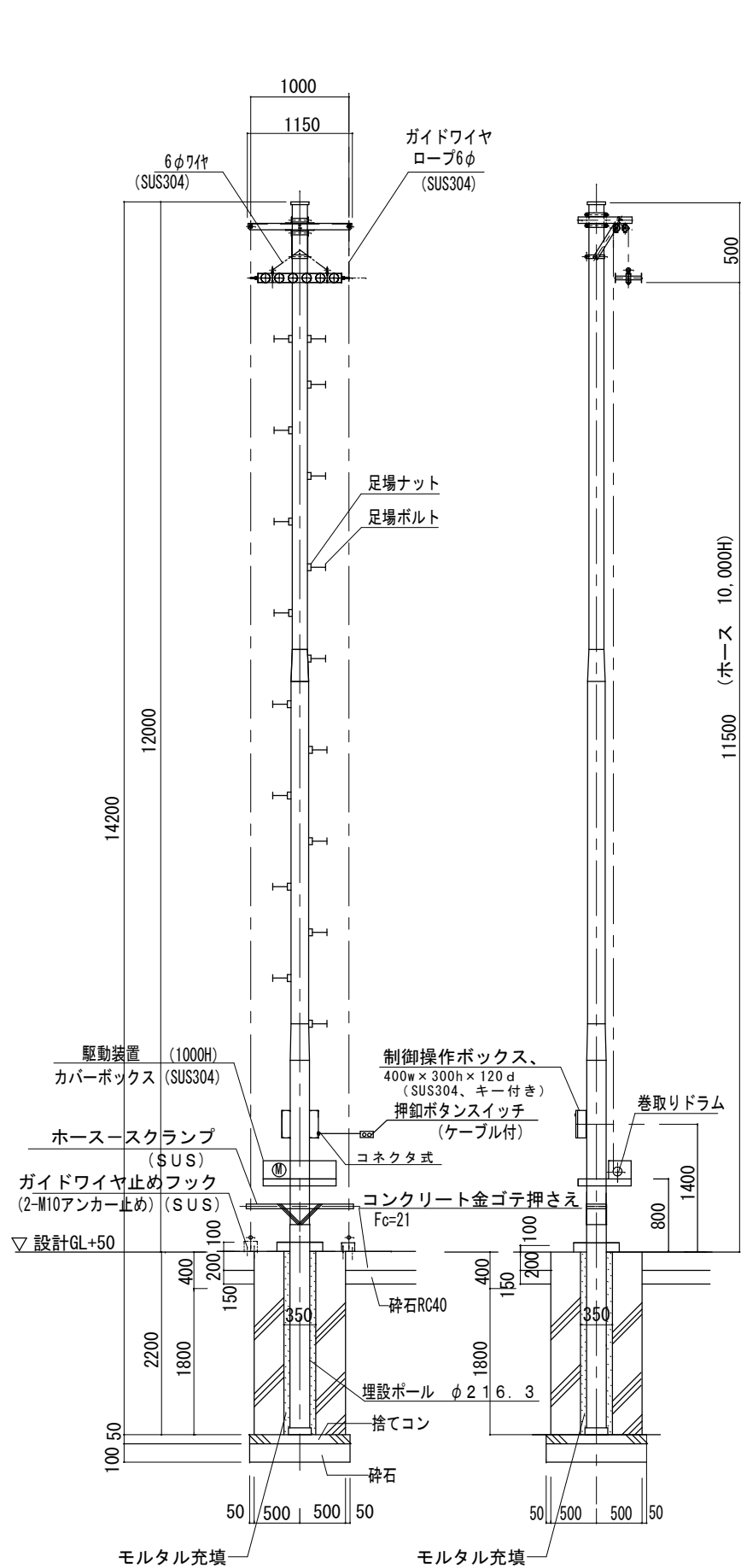
犬走コンクリート舗装 S=1/20



砂利敷き均し S=1/20

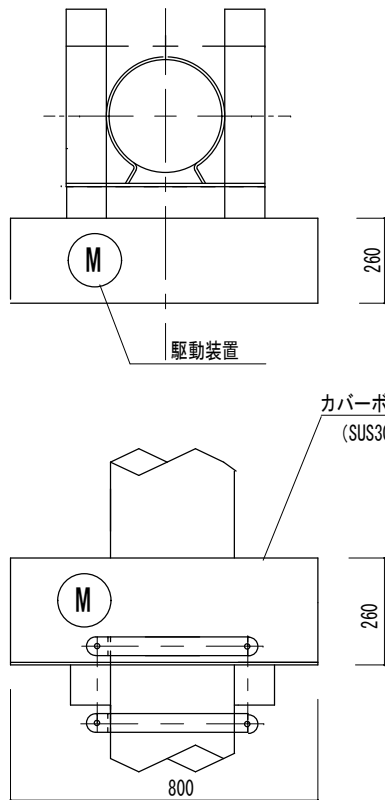


摘要	月 日					esse inc. 株式会社 イズ TEL 055 (226) 8888 (代) FAX 055 (226) 5727 甲府市飯田4丁目7-14	一級建築士 長田 孝三 第123273号 一級建築士事務所 第1- 031039号 E-mail : esse@coral.plala.or.jp	管理建築士 検図者 設計者 担当者 作 製 令和 4 年 12 月 20 日	工事名称	北新分団本部拠点施設建設 (建築主体) 工事		図面番号 D - 09
									図面名称	外構図	縮 尺 A-2 S=1:50	



構造リスト

位置	基礎本工事（本体基礎より先に施工）
断面	
X × Y	1000 × 1000
主筋	20-D13
フープ	□-D13@200
その他	柱頭にはかご筋を設置 4隅主筋の柱頭はフック付 主筋脚部L型フック付 柱頭・柱脚部第1フープは二重筋 フープ筋形状はタガ型



仕 様		
型式	DP-AU型（電動式）	
台数	1 基	
積載本数	20Mホース 12本吊	
巻上方式	電動式（200V-単相-50Hz-0.2kw）	
番号	名 称	材 質
1	吊ハンガー	(SUS304)
2	吊ワイヤーロープ、ガイドワイヤーロープ Φ6	(SUS304)
3	共梁金物	(SS材 溶融亜鉛メッキ)
4	吊ビーム	(SS材 溶融亜鉛メッキ)
5	支 柱	1. ポールΦ193×3. 2~Φ216. 3×6. 0 2. 頂上キャップ 3. 底キャップ 4. 足場ボルト (SS材 溶融亜鉛メッキ) (SS材 溶融亜鉛メッキ) (SS材 溶融亜鉛メッキ)
6	ホース振止め金具	(SUS304)
7	滑 車	(SUS304)
8	バンド及びバンドボルト	(SS材 溶融亜鉛メッキ)
9	ウィンチ取付ブラケット	(SS材 溶融亜鉛メッキ)



※修正箇所は下線を引くこと

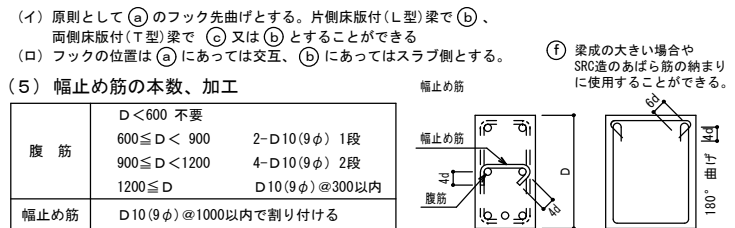
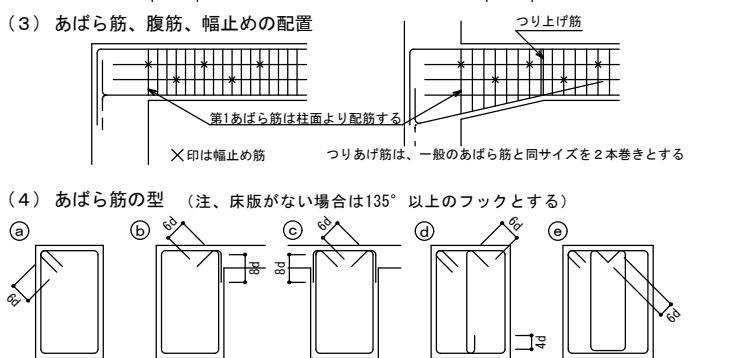
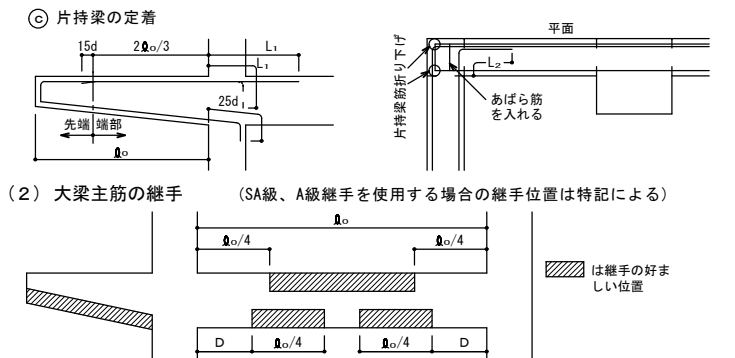
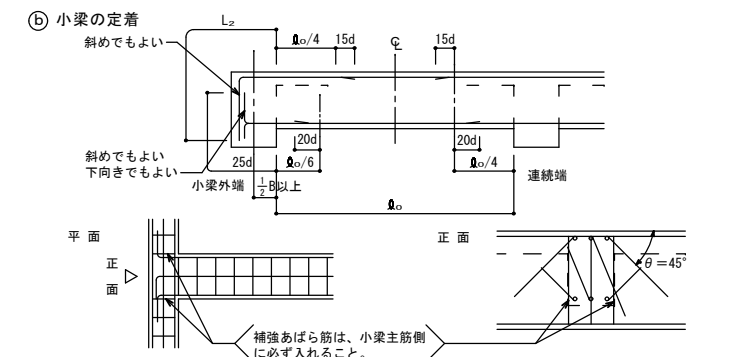
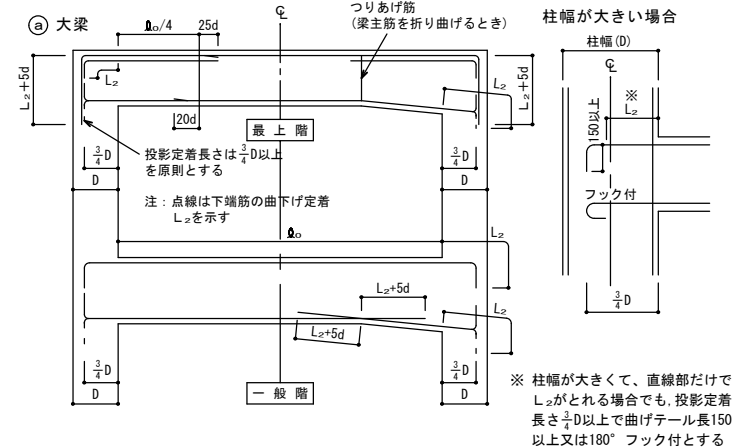
d・・・異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径      D・・・部材の成      R・・・直径  
@・・・間隔      r・・・半径      C・・・中心線      Q<sub>o</sub>・・・部材間の内法距離      h<sub>o</sub>・・・部材間の内法高さ  
ST・・・あばら筋      HOOP・・・帯筋      S.HOOP・・・補強帯筋      φ・・・直径又は丸鋼

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

※修正箇所は下線を引くこと  
L=本構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

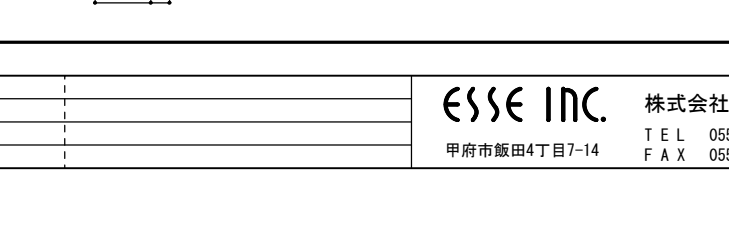
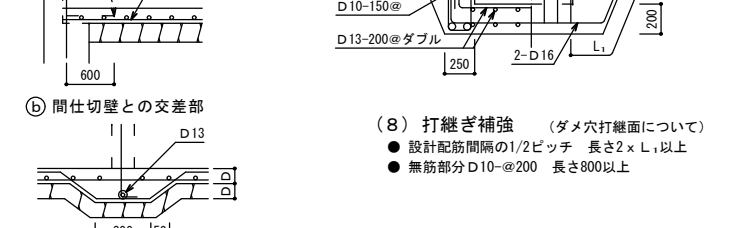
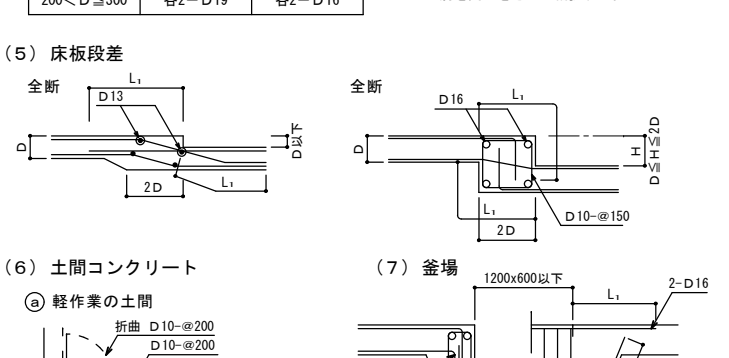
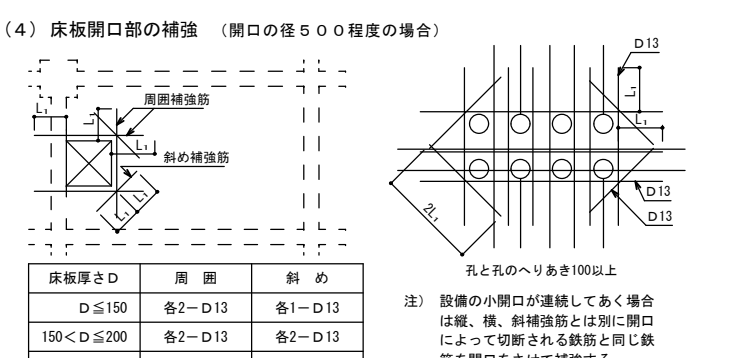
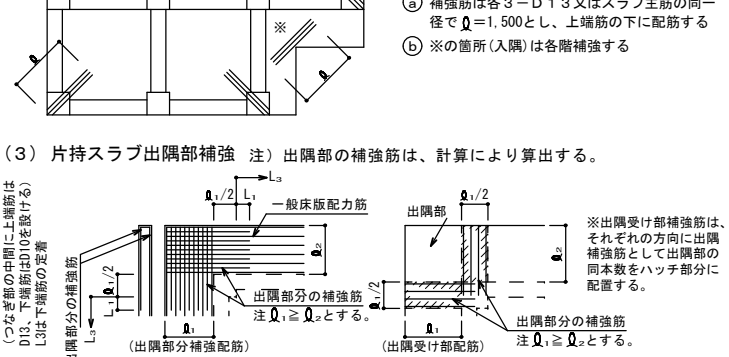
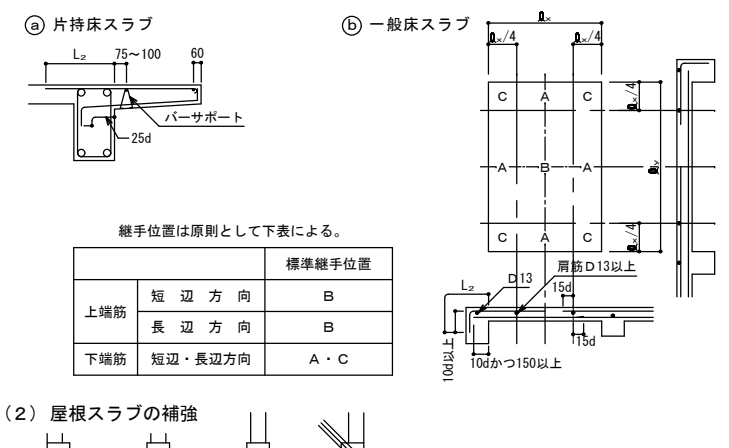
## 7. 大梁、小梁、片持梁

### (1) 定着



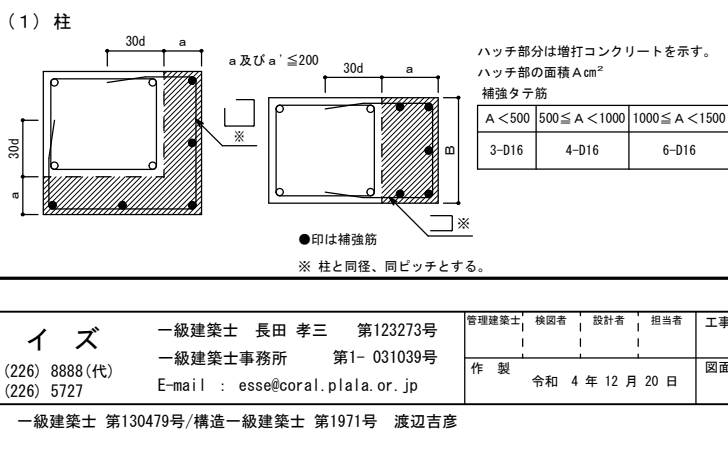
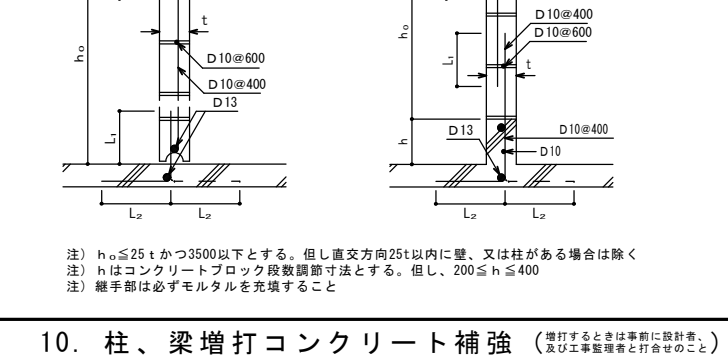
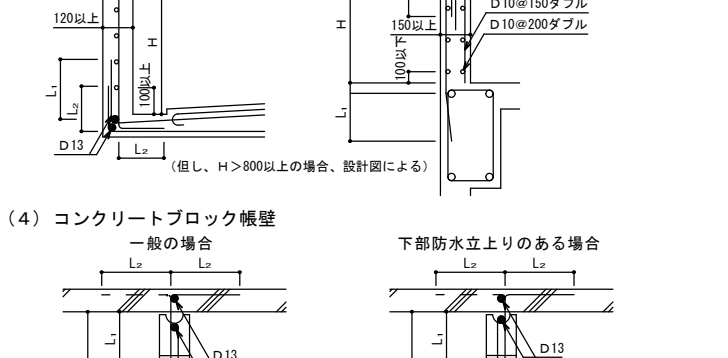
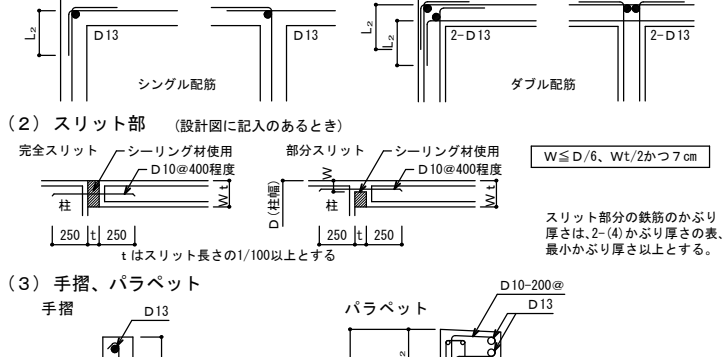
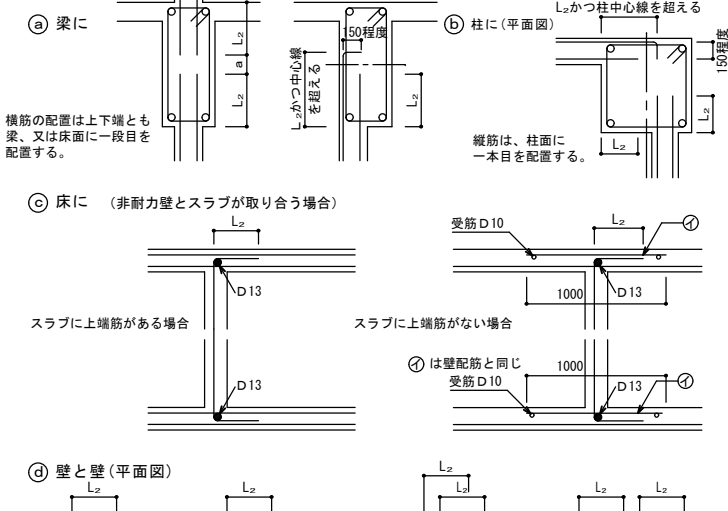
## 8. 床板

### (1) 定着および継手

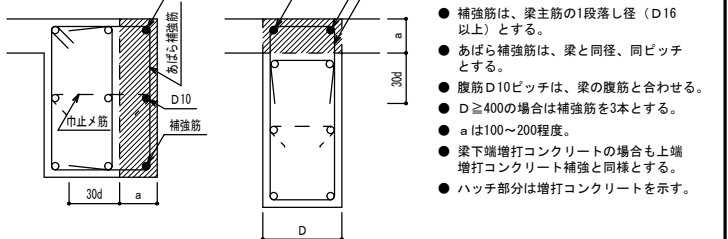


## 9. 壁

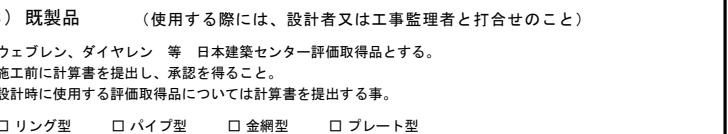
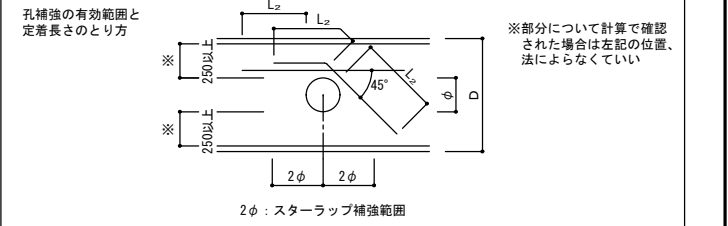
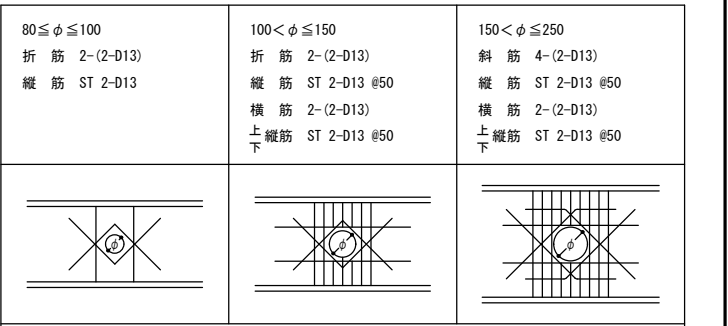
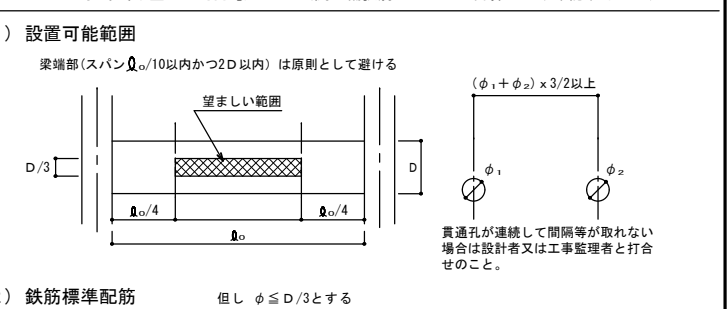
### (1) 定着



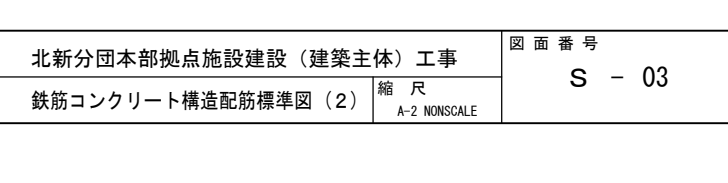
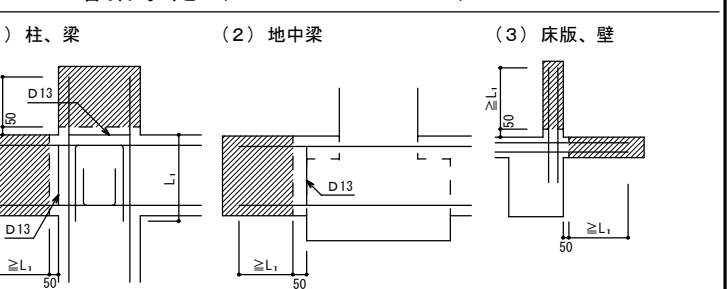
## (2) 梁



## 11. 梁貫通孔補強



## 12. 増築予定





# 鉄骨構造標準図(1)

※修正箇所は下線を引くこと

## 1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計特記仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする  
但し、ベースプレートの厚さは除く
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本編めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、 $50\mu\text{mRz}$ 以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
- (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。
- (4) 溶接接合
- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
- (b) 溶接技能者  
溶接技能者は施工する溶接に適用するJISZ3801(手溶接)又はJISZ3841(半自動溶接)の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (c) 溶接機器  
(イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機  
(ロ) アークエアーガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計  
(ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (d) 溶接方法  
アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)  
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアーガウジング(AAG)
- (e) 溶接姿勢
- (f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う  
(イ) 仮付位置  
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- (g) 溶接施工  
(イ) エンドタブ  
Ⅰ 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける  
Ⅱ エンドタブの材質は、母材と同質とする  
Ⅲ エンドタブの長さは、MC:35mm以上  
NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする  
Ⅳ プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る  
(ロ) 裏当て金  
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする  
但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる  
(ハ) スクラップ半径は30~35mmと10mmのダブルアールとする  
但し梁成が D=150mm未満の場合のスクラップはr=20mmとする
- (ホ) 裏はつり  
標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークを付ける  
(ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に、養生を行う
- (5) 塗装  
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

## 2. 溶接規準図 (注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位mm)

(1) 隅肉溶接

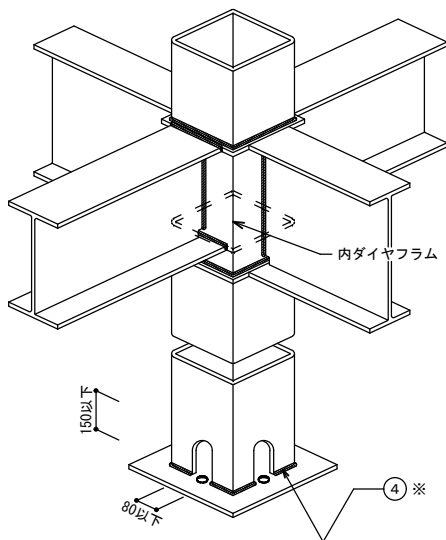
(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)

(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T継手)

(4) フレアー溶接

※溶接記号番号を○中に記入のこと

## ●BOX型 (通しダイアフラムの場合)



●柱が途中で折れる場合  
及 梁成が異なる場合 内ダイアフラム

## ●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス温度差 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214		
	JIS Z 3312 YGW-11, 15	40以下	350以下
	JIS Z 3315 YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	JIS Z 3312 YGW-11, 15	30以下	250以下
	JIS Z 3315 YGA-50W, 50P	40以下	350以下

注) STKR, BCR, BCP材はJIS Z 3312, のみ使用可  
「構造設計特記仕様 6. 鉄骨工事(2) 口認定または登録工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

## ●H方式

(A)-(A) 断面図

平面詳細図

断面

1 ※ t>16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

2 ※ t>16mmの場合は、③~⑤とする。



### 1. 工法概要

#### 1.1 構成部材

① アンカーボルト ⑥ テンプレート  
② 注入座金 ⑦ フレームポスト  
③ Mナット ⑧ フレームベース  
④ ベースバックグラウト (グラウト材) ⑨ ステコンアンカー (コンクリートアンカー)  
⑤ 定着座金 ⑩ ベースプレート

(注) 上記①～⑩の構成部材はベースバック構成部品として供給される。  
(注) 上記⑥～⑨は現場状況により仕様異なる場合がある。

#### 1.2 柱脚の定着方法概要

グラウトロート  
グラウト材  
注入座金  
注入棒 (様本等)

### 2. 柱

F 値 (N/mm <sup>2</sup> )	鋼 種	採 用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	●
	TSC295	

### 3. 構成部材・寸法

#### 3.1 ベースプレート

● 材質 SN490B [JIS G 3136]

形状 (イ) 形状 (ハ)

#### 3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

i) アンカーフレーム Aタイプの場合 ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	735	45	140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	810	60	135	490

注1) 据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

#### 3.3 Mナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
D33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

#### 3.4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

適用アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

適用アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

#### 3.5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

### 4. コンクリート柱型

#### 4.1 形状・材質

● 形状  
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースバック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。

● コンクリート  
普通コンクリートとし、設計基準強度は 21 N/mm<sup>2</sup> 以上とする。

● 鉄 筋  
SD295 (D13, D16)  
SD345 (D19, D22)

#### 4.2 配 筋

※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。  
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

#### 4.3 基礎立上がり

● 基礎立上がり高さは 50 mm 以下とする。  
※ただし基礎立上がり高さが 50 mm を超え 300 mm 以下の場合、L シリーズを使用することができる。

基礎梁天端  
あるいは  
フーチング天端

立上り高さ

### 5. 工場製作 (溶接)

#### ■ 組立

● ベースプレートの中心線 (ケガキ線) に柱材軸芯を合わせる。

#### ■ 溶接方法 (完全溶込み溶接)

● 完全溶込み溶接とする。 (JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

図	溶接方法	適用板厚 T (mm)	ルート間隔 G (mm)	ルート幅 G (mm)	開先角度 α (°)	溶接姿勢			
図 1	溶接	6 ~	7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1 : 45	-2.5, +∞ (-5.0, +∞)	下向き
			9	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1 : 35		
		6 ~	6	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1 : 45	-2.5, +∞ (-5.0, +∞)	下向き
			7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1 : 35		

許容差 ・ 記号 +∞ は制限無しを示す。  
・ 2 段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差 (上段 : 管理許容差、下段括弧内 : 限界許容差) を示す。

#### ■ ベースプレートの予熱

● 気温 (鋼材表面温度) が 5 °C 以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼 種	板厚 (mm)	予熱なし	予熱なし	予熱なし
低圧水素被覆アーク溶接 CO <sub>2</sub> ガスシールドアーク溶接	SN490B	t < 32	50°C	50°C	50°C
	SN490B	32 ≤ t < 40	50°C	50°C	50°C
		40 ≤ t ≤ 50	50°C	50°C	50°C

#### ■ 検査方法 : 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■ 施工管理 : 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

### 6. 工事場施工

#### 6.1 基礎工事

● 柱脚部の捨コンの厚さは 90 mm 以上とし、表面は平滑に仕上げる。

#### 6.2 アンカーボルト据付け

● アンカーボルト (フレーム) の組立ては、4 隅のアンカーボルト 4 本で組立てを行う。

● フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

● 位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱芯を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

図 1

柱芯  
テンプレート  
中心線  
けがき線  
アンカーボルト  
e1 : 柱芯とテンプレートのけがき線との許容差

標準許容差

-2 ≤ e1 ≤ 2  
基準高さより誤差は  
-3 ≤ e ≤ 10

#### 6.3 配筋およびコンクリート打設

● 配筋はアンカーボルト (フレーム) との取り合いを考慮する。

● コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

#### 6.4 建 方

● レベルモルタルはベースバックグラウト (グラウト材) を使用し大きさは右図による。

ベースバックグラウト  
約 30 mm  
2/3 程度  
ℓ

#### 6.5 アンカーボルトの本締め (弛み止め)

● 本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

#### 6.6 ベースバックグラウト (グラウト材) の注入

● グラウト材のカクハンは、グラウト材 1 袋 (6 kg) に対して、計量カップで 1.0 ~ 1.1 ℓ の水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

● グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材がふき出るまで行う。

### 7. 本工法の施工及び施工管理

● 本工法は、管理者又は施工者 (元請) の管理のもとで実施するものとする。

● 本工法のうち 6.2 アンカーボルト据付け及び 6.6 ベースバックグラウトの注入は、ベースバック施工技術委員会によって認定された有資格者 (ベースバック施工管理技術者・施工技能者) が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

● ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

月 日

摘要

esse inc. 株式会社 イズ  
T E L 055 (226) 8888 (代)  
F A X 055 (226) 5727  
甲府市飯田4丁目7-14

一級建築士 長田 孝三 第123273号  
一級建築士事務所 第1- 031039号  
E-mail : esse@coral.plala.or.jp

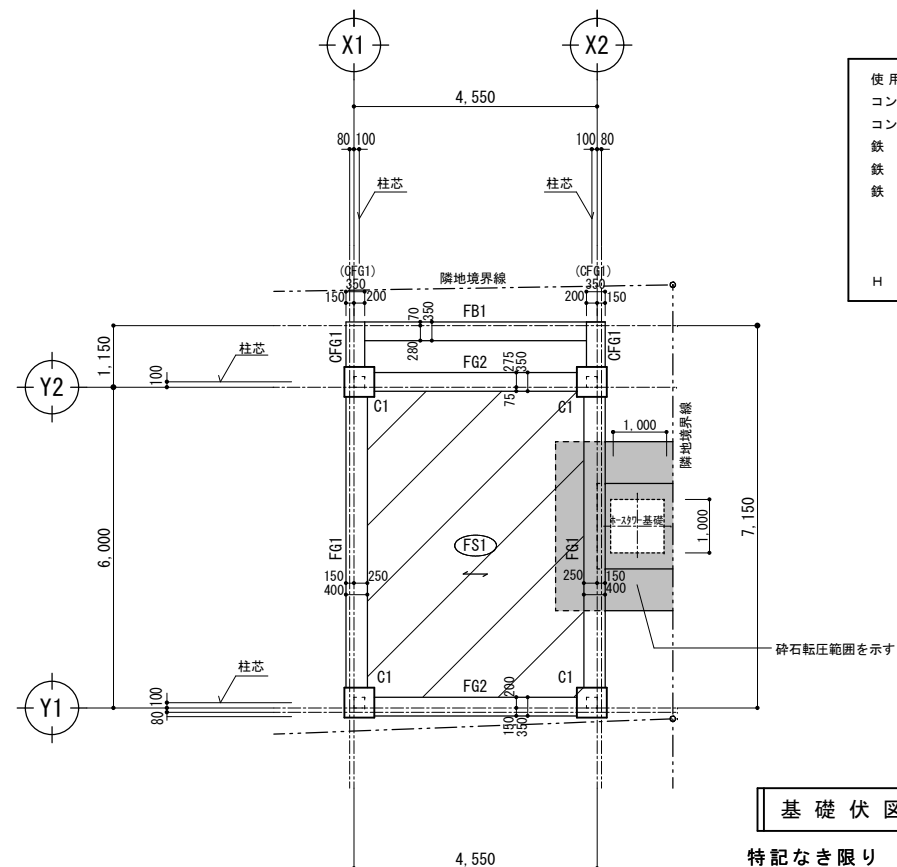
管理建築士 検閲者 設計者 担当者  
作 製 令和 4 年 12 月 20 日

工事名称  
北新分団本部拠点施設建設 (建築主体) 工事  
図面名称  
ベースバック柱脚工法 標準図  
縮 尺  
A-2 NONSCALE

図 面 番 号  
S - 06

一級建築士 第130479号/構造一級建築士 第1971号 渡辺吉彦



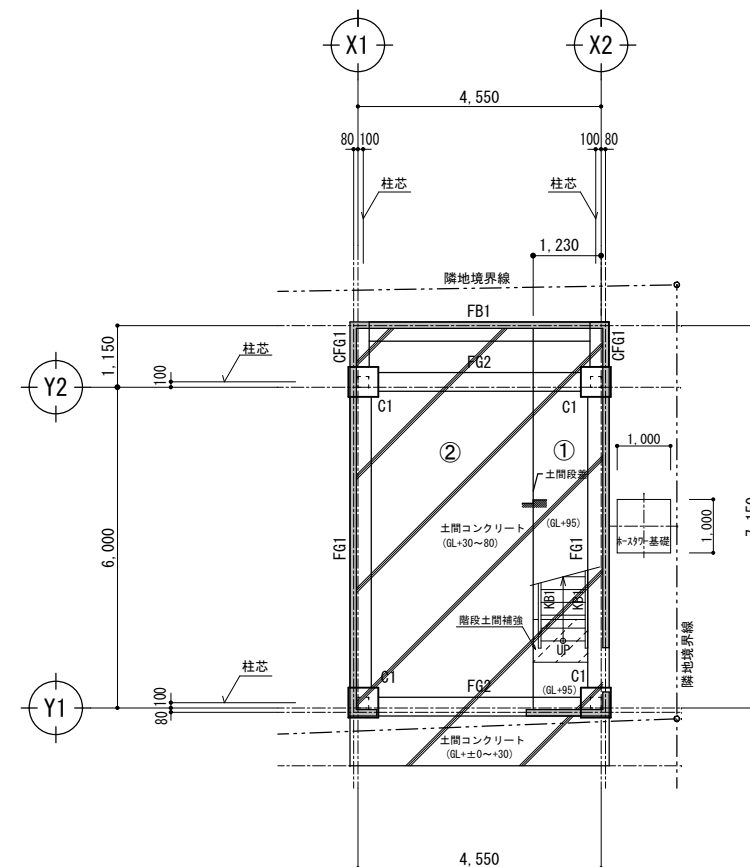


特記なき限り


(FS1) 底版を示す。t=300 GL-700 (スラブ天端)

使用材料	
コンクリート	F c 21
コンクリート	F c 18 (土間コ)
鉄筋	SD 345 (D19以上)
鉄筋	SD 295A (D16以下)
鉄骨	一般材 SS400, SN400B, SSC400
	柱コラム材 BCR295
	仕口材 SN490C (通シダイヤ)
	鋼管材 STKR400
H T B	F10T・S10T $\mu=0.45$

※ 設計地耐力  $F=70 \text{ kN/mm}^2$   
(長期)

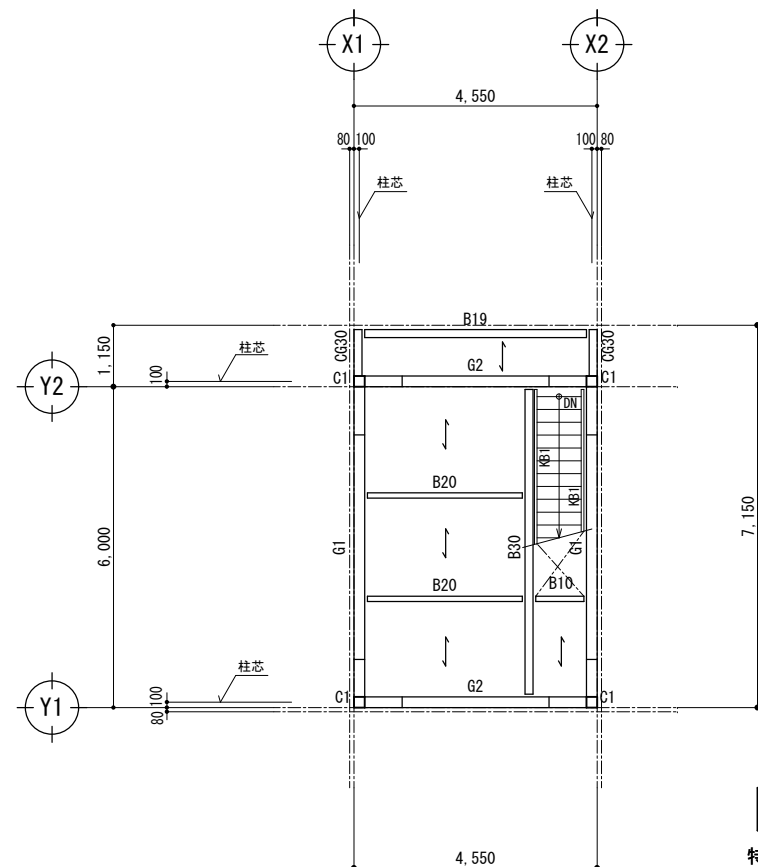


特記なき限り

 土間コンクリートを示す。 t=180mm

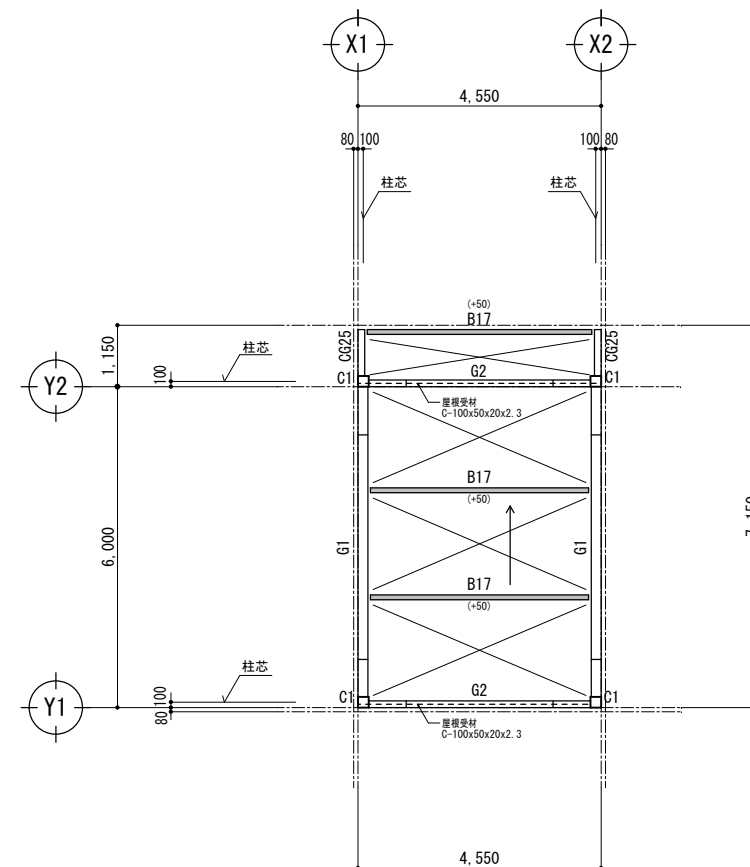
地中梁天端 GL-200mm とする。

B. PL下端 GL-170mm とする。



特記なき限り

← テッキ方向を示す。(QL99-50-12)  
コンクリート：テッキ山上780mm (計 7130mm)



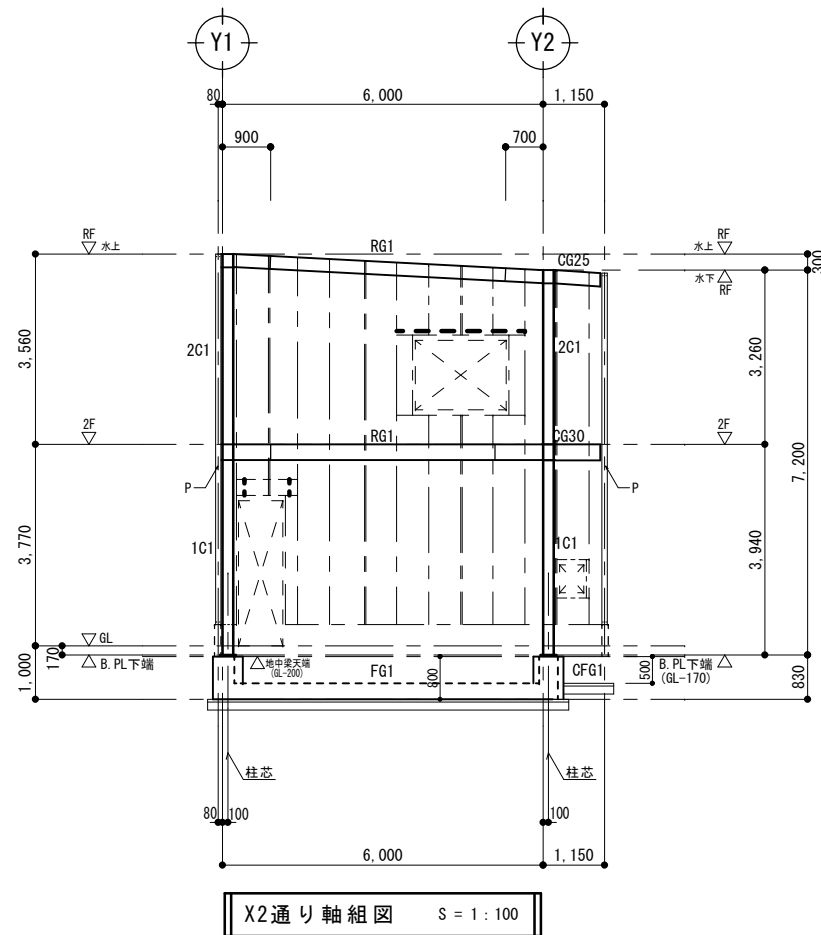
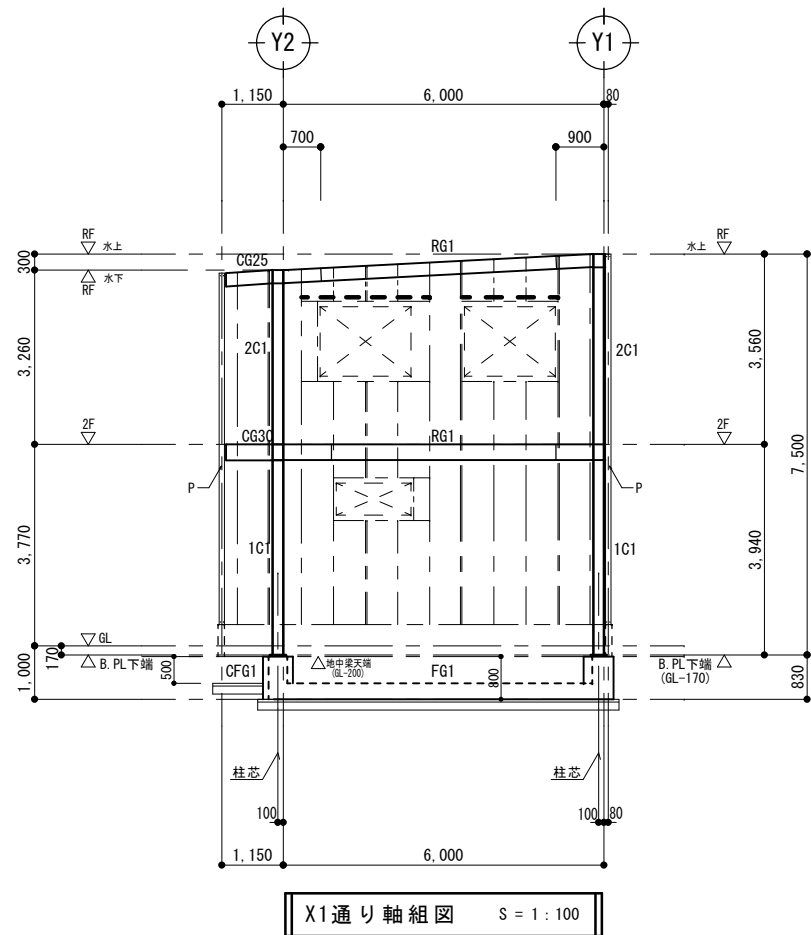
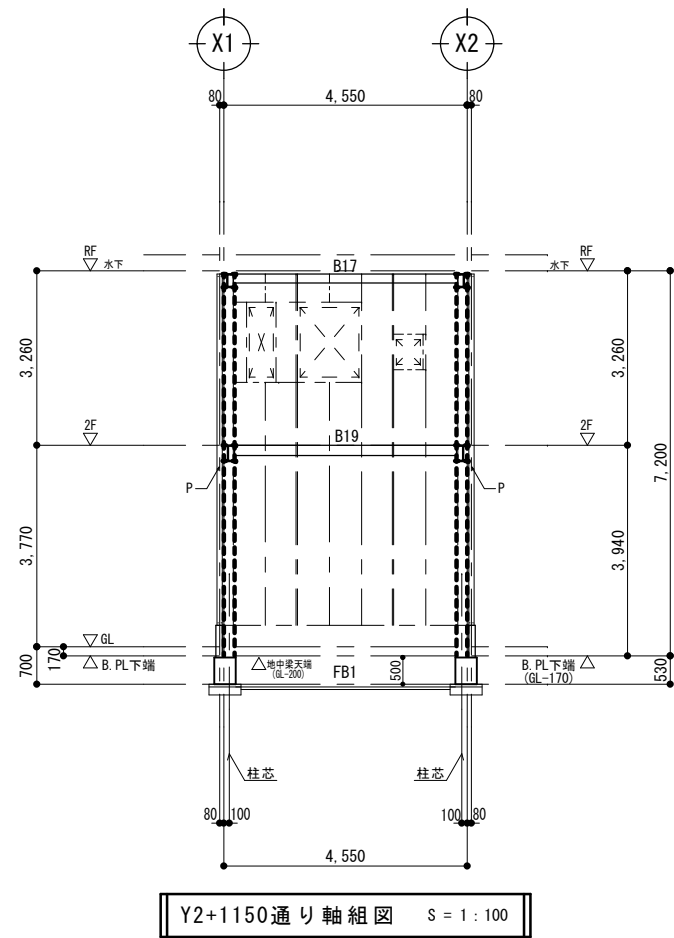
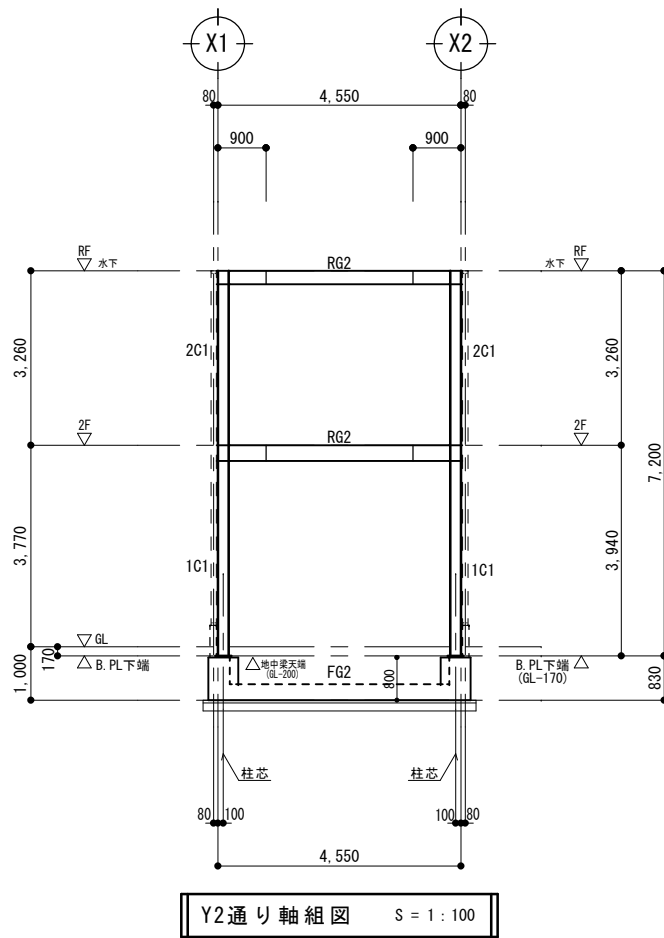
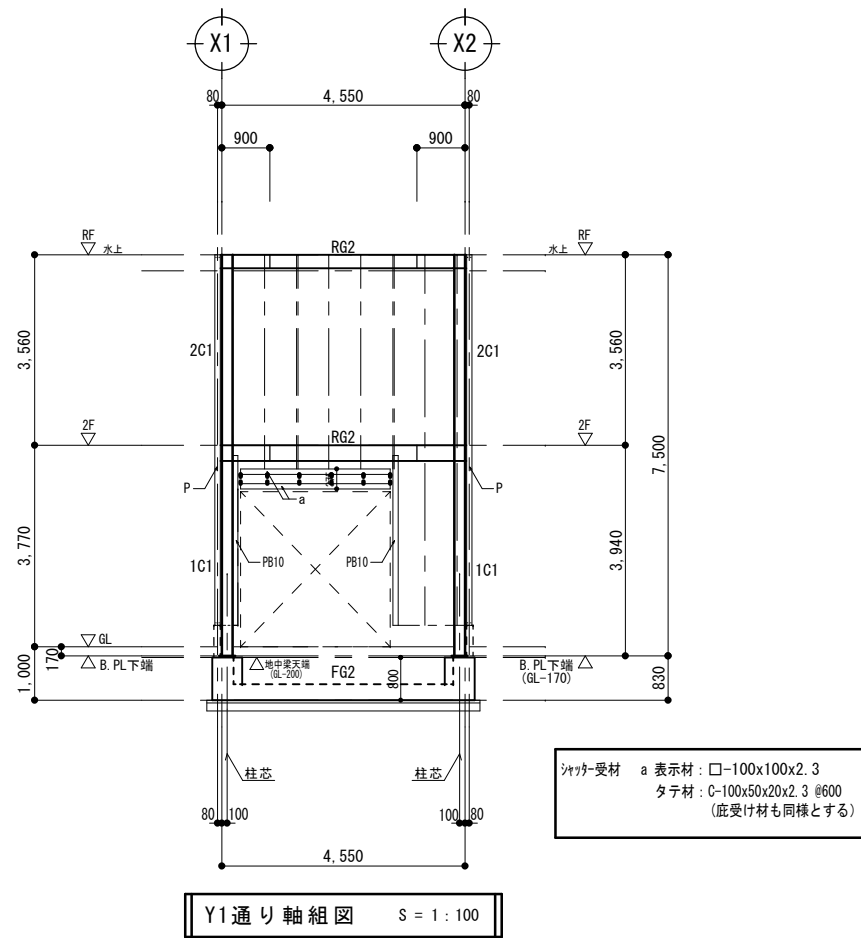
特記なき限り

勾配方向 → 屋根：折 版（カラーGL鋼板ルーフィング）を示す。  
(H=85.88 t=0.6)

✕ 水平ブレース T1 を示す。

摘 要	月 日		<div>esse inc.</div> <div>株式会社 イ ズ</div> <div>一級建築士 長田 孝三 第123273号</div> <div>一級建築士事務所 第1- 031039号</div> <div>甲府市飯田4丁目7-14</div> <div>TEL 055 (226) 8888(代)</div> <div>FAX 055 (226) 5727</div> <div>E-mail : esse@coral.plala.or.jp</div>	管理建築士	検図者	設計者	担当者	工事名称		図面番号
				北新分団本部拠点施設建設（建築主体）工事						
				作 製	令和 4 年 12 月 15 日	図面名称		縮 尺		
						基礎伏図、各階梁伏図		A-2 S=1:100		

S - 08

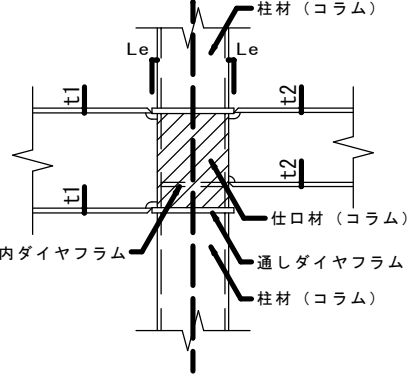
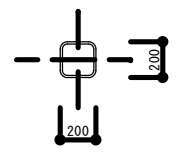
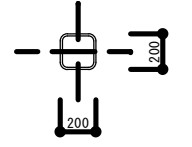


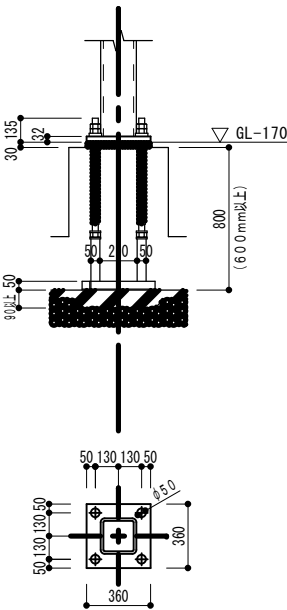
共通事項

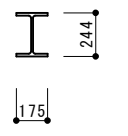
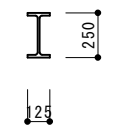
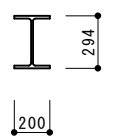
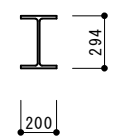
タテ筋線 2C-100x50x20x2.3 @1800  
タテ筋線 C-100x50x20x2.3 @600  
P表示材 □-100x100x2.3 (コーナー部)

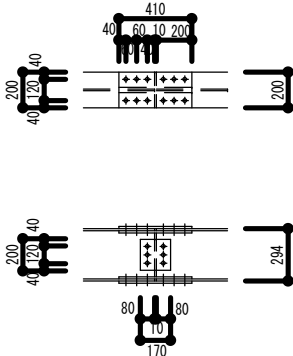
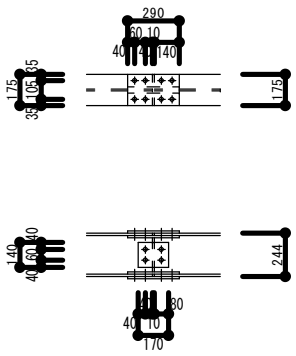
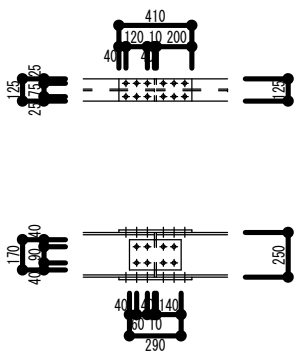
土台 C-100x50x20x3.2 とする。  
土台アンカーボルト M12 (L=150mm) とする。  
土台アンカーボルトの配置  
土台が切れる開口の両端 かつ @1,800 以下とする。



柱 リスト S = 1:30			使用材料 コラム材 : 表記による。 ダイヤフラム材 : SN490C材 とする。	
符 号		G1	【 共 通 事 項 】	
階	位 置	全断面		
2	断 面			
	鉄 骨	□-200x200x9 BCR295		
1	断 面		※特記なき限り (1) 仕 口 ※ (告示第1464号による) ・仕口材 (コラム) の厚さ → t2 以上とする。 (上記以外の仕口形式は、下階の柱材とする。) ・通しダイヤプレート の厚さ → 柱材の厚さ以上、かつ t1 厚の2サイズUPとする。 ・通しダイヤプレート の出 (Le) → 25mm ・内ダイヤプレート の厚さ → 柱材の厚さ以上、かつ t2 厚の1サイズUPとする。  ※ 内ダイヤで取付梁は、柱材の R 部分 を逃げること。	
	鉄 骨	□-200x200x12 BCR295		
	柱 脚	ベースパック 20-12V		

柱 脚 リ ス ト		S = 1:30	使用材料 ベースパック仕様による。
符 号	ベースパック 20-12V		
主 材	□-200x200x12 (BCR295)		
断 面			
BASE. PL	PL-32x360x360 [SN490B]		
A. BOLT	4-M33 [SD490]		

大 梁 リ ス ト S = 1:30			使用材料 大 梁 材 : SN400B材 とする。	
符 号		G1	G2	
階	位 置	全断面	全断面	
R	断 面			
	鉄 骨	H-244x175x7x11	H-250x125x6x9	
	継 手	J2	J3	
2	位 置	全断面	全断面	
	断 面			
	鉄 骨	H-294x200x8x12	H-294x200x8x12	
	継 手	J1	J1	

継 手 リ ス ト		S = 1:30	使用材料 銅 板 材 : SN400B材 とする。 ※ 梁継手は、SCSS-H97 による。	
符 号		J1	J2	J3
主 材		H-294x200x8x12 GGF-4X-J3020-0912-20	H-244x175x7x11 GGF-4X-J2517-0612-20	H-250x125x6x9 GGF-4X-J2512-0609-16
断 面				
フランジ	S P L	2PL- 9x200x410	2PL-9x175x290	2PL-12x125x410
	H T B	4PL- 9x 80x410 24-M20	4PL-9x 70x290 16-M20	
ウェブ	S P L	2PL- 9x200x170	2PL-9x140x170	2PL- 6x170x290
	H T B	6-M20	4-M20	8-M16



